

平成15年度

# 少年町長・議員活動 報告書



平成16年3月  
山形県遊佐町



少年町長・町長挨拶…………… 2

遊佐町少年町長活動経過報告…………… 3

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項…………… 4

選挙チラシ…………… 7

投票用紙…………… 8

選挙公報…………… 9

開票風景…………… 11

開票図面・開票結果…………… 12

有権者（中高校生）の提案と政策（抜粋）…………… 13

政策提言 I 第7回少年議会より…………… 18

政策提言 II 第11回少年議会より…………… 26

政策提言 III 第12回少年議会より…………… 28

少年町長・少年議員の政策予算で行った事業…………… 41

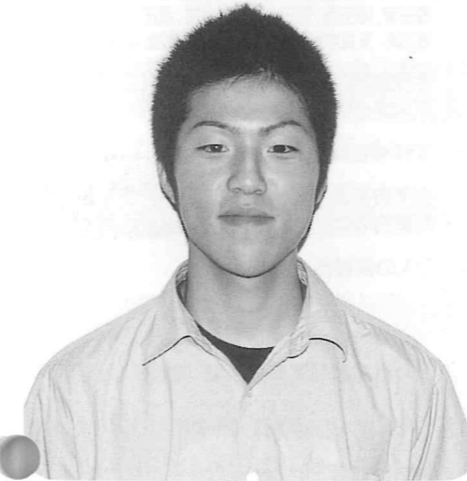
有権者の意見を提言により実現した事業…………… 42

新聞記事等…………… 43

遊佐町少年町長・少年議長公選事業プロジェクト名簿  
おわりにかえて…………… 46



### 少年町長○後藤 丞



遊佐町少年議会が解散して、早くも3ヶ月が過ぎようとしています。今、振り返ってみるとあれだけ前例のない中、自分達は、よく少年議会をする事ができたなと思います。議員一人一人、自分の意見を持って議会に参加し、何回も繰り返し話し合い、たまには道はずすこともあったけど、あの積み重ねがいろんなイベントの成功につながっていったんだと思います。自分がこの活動に関わってかわった事が一つあります。それは、自分の町がどのようにすれば良くなるのか、また、町の中で危険な場所はないか、という町を観察する事です。これは、簡単なことかもしれません。しかし、この少年議会の活動を通して自分は、町の人より良い生活をおくるため、小さなことでもいいから町の変化に気付こうという努力をしています。これは、少年議会を終わった今でも、続けている一つです。

このようなたくさんの活動を少年議会はしてきましたが、今の中、高校生は、大半が少年議会には興味を示していなかったと思います。しかし、その中にも自分達の活動を見てくれる人がいて、励ましの言葉を掛けてくれたり、相談にのってくれることがありました。その時は、本当に支えになりました。最後にこの少年議会の活動は、自分にとって、とても良い体験でした。この体験を今後の人生のいろんな事にプラスできたらいいと考えています

### 遊佐町長○小野寺 喜一郎



まずは、第1期の少年町長の後藤丞君、そして10人の少年議員のみなさん、さらに斎藤千絵さんと池田裕紀君の2人の少年助役のみなさん、約半年間の活動たいへんご苦労様でした。また、ありがとうございます。この半年間のみなさんの活躍は、遊佐町すべての町民にもう一度自分たちの住む遊佐町の誇りを感じさせてくれました。

さて、この遊佐町少年町長・少年議員公選事業は、私の青年団活動の経験を踏まえてもう一度青年達が自分達のすむ地域に目を向け、まちづくりの担い手として、あらゆる場で活動をしてほしいという願いをもって実施した事業です。

今日、青年を取り巻く状況は、必ずしもいい方向にいらっているとは言えません。若年失業者の増加、卒業浪人の発生、また、青少年犯罪や非行の増大など将来に対する希望を見失うような社会情勢が青年達を覆っていると言っても過言ではありません。

しかし、いつの時代でも青年達が自分たちの未来を創造するために集い、語り学びあうことは、私たちの未来にとって特に重要なことだと考えております。

今回の事業をとおして、中高校生から若い生活者の視点で様々な課題や政策を提言いただきました。その一部については、今回の事業の中で実現をしたものもありますが、残された課題については、引き続き真摯に受け止めその実現のために、全力をあげて行きたいと考えております。

また、これからも、自らの生活課題や、地域課題を解決していく努力への熱意に支援を惜しまず、次代を担うのは当然、しかし現代だって担っているはずの若者達の活躍を見守っていきたくて考えております。

第1期の少年町長・少年議員の活動の成果や思いが、続く第2期のみなさんにつながるように願いながらお礼といたします。

# 遊佐町少年町長活動経過報告

概要	期日(平成15年)	場所等	備考
少年町長・少年議員の候補者募集		広報ゆざ「お知らせ」 6月15日号	
高校説明会	6月11日～16日	各高校	酒田東、酒田西、酒田北、酒田商業、酒田工業、酒田中央、酒田南、天真学園、遊佐の各高等学校生徒への説明
遊佐中学校の生徒への説明会・チラシの配布	6月25日	遊佐中学校	生徒説明会・少年町長、少年議員立候補届出、ポスターの配布
立候補者受付期間(告示)	6月26日～6月30日	遊佐町少年町長・議員 公選事業事務局	立候補者募集開始
立候補者受付の終了	6月30日		少年町長3 少年議員10立候補 少年議員は 定数内のため当選決定
少年町長選挙投票	7月10日～7月13日	遊佐町中央公民館・町立図書館・ 遊佐駅・吹浦駅及び各高校・中学校	3人の候補者
遊佐高等学校で立会演説会(遊佐高校候補者のみ)	7月11日	遊佐高等学校体育館	
開票	7月13日	遊佐町中央公民館	少年議員が開票事務担当 選挙長 狩野未来
平成15年度遊佐町少年町長・少年議員当選証書等交付式	7月13日	遊佐町中央公民館	同時に2人の少年助役を委嘱
第1回少年議会	7月13日	遊佐町中央公民館	抱負の発表
第2回少年議会	7月26日	委員会室	今後の活動方法とスケジュールについて・少年 町長・議員の政策について・有権者の意見 のとりまとめ(ワークショップ1)・少年議長 佐藤 慶 副議長 高橋 慶充を選出
第3回少年議会	8月3日	町役場議事所・現場	ワークショップ2・政策課題現場調査(屋外)
少年議会盆踊り特別委員会	8月7日	町役場議事所	決定事項(フリーマーケット・盆踊り・売店・あ いさつ)全有権者にDM発送、チェーンメール
臨時少年議会	8月11日	町役場議事所・現場	個人政策の確認・ワークショップ3・政策課題 現場調査(屋外)盆踊りの取り組み
第34回町民盆踊り大会への参加・フリーマーケット・売店・あいさつ	8月14日	第34回町民盆踊り大会会場	少年会議でフリーマーケットを行う アナウンス 狩野未来
第4回少年議会	8月21日	町役場議事所	有権者の意見集約ワークショップ・政策予算 50万円で何を實現するかの話し合い・今後 の少年議会日程協議
第11回鳥海ツデーマーチアピール	9月6日～9月7日	遊佐町町民体育館前広場	全国からのお客さんに出発のエールを送った。
第5回少年議会	9月7日	町役場議事所	政策予算50万円の使途方法(ストリートバス ケット施設グループ・イベントグループ)
第6回少年議会	9月15日	町役場議事所	(1)有権者の意見集約表による町長・助役・議 員の発表原稿の作成 (2)政策予算の使い道
第7回少年議会	10月11日	町役場議事所	第7回少年議会(町当局への政策提言1回目 -小野寺町長他関係課長)全員提言
第8回少年議会	10月20日	町役場議事所	第8回少年議会(政策予算-イベント)
第9回少年議会	10月26日	町役場議事所	第9回少年議会(政策予算-イベント)
第10回少年議会	11月4日	町役場議事所	第10回少年議会(政策予算-イベント)
神鹿角切り祭への参加	11月13日	大平山荘	角切りイベント・ボランティア
第11回少年議会	11月15日	町役場議事所・現場	町当局への政策提言2-ストリートバスケット の設置・フットサルゴールの設置、広場の開 放について-梅津収入役他関係課長(第7回 議会の提言による工事状況現地視察-防犯 灯、ガードレール他)
第11回少年議会(続き)	12月6日	ゆうすい・町役場議事所	ゆうすい前都市公園にさくら植樹10本・ゆう すい館内清掃ボランティア・とまらない 終わ らない遊佐 参加団体募集ポスター作成等
とまらない、終わらない遊佐2003特別委員会	12月15日	町役場議事所	とまらない、おわらない2003ゆざの役割分 担、プログラム作成、チェーンメール
とまらない、終わらない遊佐2003	12月20日	中央公民館ホール	8団体出演、観客200名
第12回少年議会	12月28日	トレセン・町役場議事所	ストリートバスケット設置作業・第12回議会 (町当局への最終政策提言)・解散パーティ

# 遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項

## 1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

## 2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきた。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えている。青年たちが自分たちのすまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生する。そして、地域の中で若者たちが、生活者として認識され、若者たちの居場所と、出番が地域の中に見えてくる。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生しよう。

## 3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

● 遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。21世紀をむかえ、私たちの前には地球的規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

## 4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を實現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会のシステムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場としたい。(相互教育)

## 5. 少年町長・少年議会の構成対象者

遊佐町在住の中高校生及び遊佐高等学校生徒

構成者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。

また、少年議会では、自らの政策立案と少年町長の議案審議権を有する。

## 6. 構成員

- (1) 少年町長(1名) 構成対象者のうち少年町長に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (2) 少年議員(10名) 構成対象者のうち少年議員に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (3) 少年助役(若干名) 構成対象者のうち少年町長・少年議員に立候補した者の中から町長が委嘱する者



7. アドバイザー会議・実行委員会

少年町長・少年議会の運営のため、アドバイザー会議を設置する。  
 アドバイザー会議は、全体的な計画・事業について幅広く意見をいただくとともに、学校にあっては、生徒のこの事業に関する直接的な支援を行う。  
 プロジェクトチーム担当各課長及び、遊佐高等学校・遊佐中学校で構成する。  
 また、必要に応じて遊佐高等学校及び遊佐中学校生徒会執行部の合同実行委員会を組織する。

8. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業のすべての構成者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

9. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び副議長を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。  
 併せて、少年議会の場で自ら少年政策立案を行うことができる。

10. 事業期間 平成15年5月～12月(第1期)

11. 事業スケジュール(当初計画概案)

- 平成15年 4月 プロジェクトチームの立ち上げ(遊佐町役場内)
- 平成15年 5月 学校への説明会と意見聴取(アドバイザー会議)
- 平成15年 5月 生徒会合同説明会(遊佐中学校生徒会・遊佐高等学校生徒会)
- 平成15年 6月 各高校への協力お願いと生徒への趣旨説明
- 平成15年 6月 全構成者への事業通知(HPを開設する。)
- 平成15年 6月 立候補者対策
- 平成15年 6月 少年町長及び少年議会議員立候補受付・立候補者チラシ作成
- 平成15年 7月 全構成者による直接選挙
- 平成15年 7月 当選証書の交付及び事業説明
- 平成15年 7月 前期少年議会
- 平成15年 8月 政策討議
- 平成15年 9月 後期少年議会
- 平成15年 9月 遊佐町長への予算要求
- 平成15年10月 予算執行(事業の実施)
- 平成15年12月 末日、任期満了

14. 留意点

- (1) 町外に通学する高校生等への周知方法
- ・専用HP及びメールアドレスを作成する。(iモード対応)
  - ・ダイレクトメールを併用する。
  - ・各高等学校へ外向き、学校側に趣旨を説明するとともに、当該生徒を集めて説明会を開催し投票への協力を依頼する。

各学校の取り組み結果

高校名	訪問	説明会日時	対象	説明会結果	高校名	訪問	説明会日時	対象	説明会結果
酒田東高校	6/11	6/18PM3:40	65	62人参加 投票函なし	酒田中央高校	6/11	6/20PM1:00	95	87人参加 投票函あり
酒田西高校	6/12	6/19PM1:00	79	74人参加 投票函なし	酒田南高校	6/11	6/18PM1:00	29	23人参加 投票函あり
酒田北高校	6/11	6/16PM1:00	30	8人参加 投票函あり	天真学園高校	6/11	6/17PM1:20	9	9人参加 投票函なし
酒田商業高校	6/11	6/20PM12:30	87	81人参加 投票函あり	遊佐高校	6/16		168	立会説明会 投票函あり
酒田工業高校	6/11	6/18PM12:50	113	46人参加 投票函あり	遊佐中学校	6/16		577	全校説明会 投票函3あり

※郵送分(庄内総合6・庄内農業3・鶴岡工業9・鶴岡工専21・羽黒25 計64)

- ・各高校長あて協力依頼文書を作成送付、担当プロジェクトが説明に向く
- ・対象者用チラシを作成する。

(2) 町民への周知方法

- ・専用HPの他、広報を活用する。

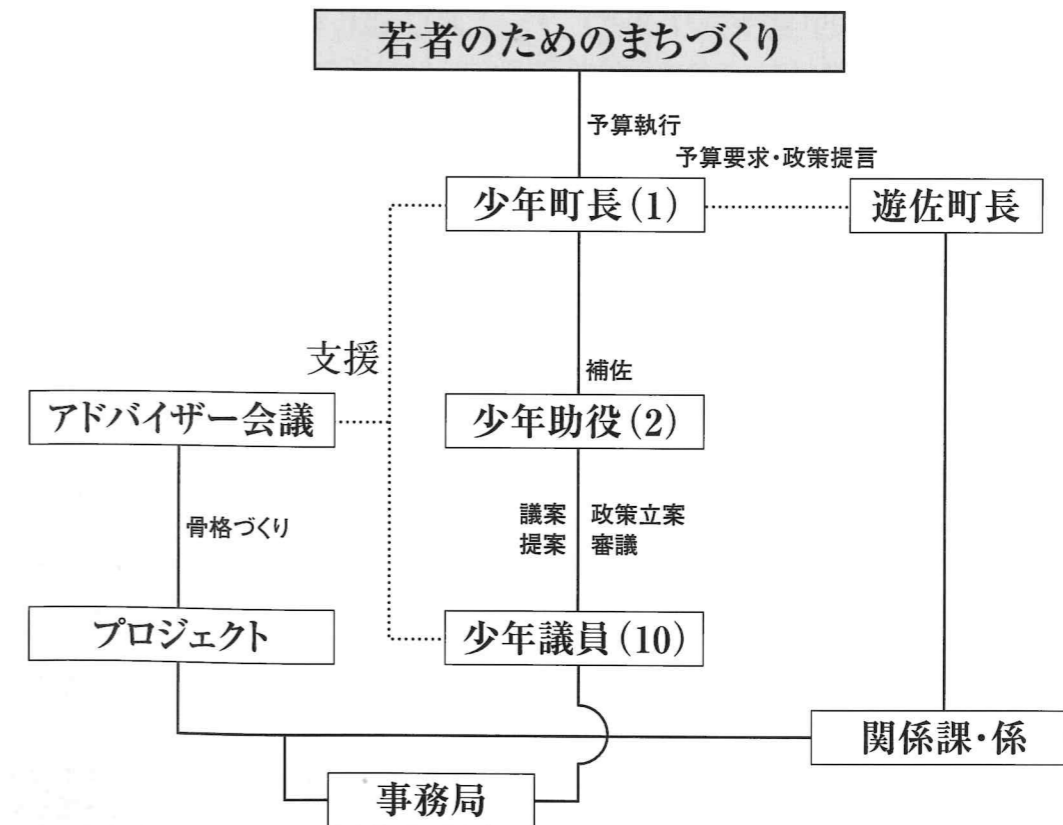
(3) 選挙管理の方法

- ・遊佐中学校生徒 中学校生徒会に依頼する。
- ・遊佐高等学校生徒 遊佐高等学校生徒会に依頼する。
- ・酒田市内高校生等 遊佐駅、吹浦駅、遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館に依頼する。
- ・開票等 遊佐中学校生徒会と遊佐高等学校生徒会の合同選挙管理委員会で行う。(実行委員会)  
 ※実際には、無競争当選となった少年議員10人が担当した

(4) 予算

- ・政策予算—全期間を通じて500,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

遊佐町少年町長・少年議員公選事業構造図





Youth President's Election 2003 in YUZA

選ぼう  
討議しよう  
実現しよう

明日の  
遊佐町には  
ぼくたちは  
わたしたちは  
提案します



①少年町長と少年議員の立候補者を募集します。

遊佐町では、中学生、高校生（遊佐町在住・在学）の中から「少年町長」と「少年議員」を直接選挙で選り少年議会を開催します。この人々は、全有権者（遊佐町に住む中学生、高校生と遊佐町に通学する高校生）の直接選挙で選ばれます。

立候補者受付期間 平成15年6月26日(木)～30日(月)

公式ホームページ上からの立候補が立候補用紙による届け出にて受け付けします。ふるって立候補ください。

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員10人

受付  
遊佐町役場  
総務企画課

②中学生、高校生が遊佐のまちづくりについて議論します。

少年町長と少年議員は、遊佐町の若者の代表として、遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていただきます。

議会の開会

- (1) 中学生、高校生の意見を政策にするために、議会を2回開会します。少年町長は議会に自分の政策提案します。
- (2) 少年議員は、少年町長の提案を審議し、自分の意見を発言します。

③町では、中学生、高校生の政策を尊重し、その実現を図ります。

遊佐町では「中学生、高校生の政策」を尊重しその実現を図ります。少年町長と少年議員は、自分たちの決めた政策を実現します。

少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ( )	
学校名	学年

以上のとおり立候補します

このプロジェクトにみんなで参加してください。参加方法はつぎのとおりです。  
 (1) 少年町長・少年議員に立候補する。  
 (2) 立候補者を直接選挙で選ぶ。  
 (3) 少年町長・少年議員を通じて町に自分たちの意見を届けたり、政策提案を行う。  
 (4) 専用ホームページや、専用e-mailアドレスに意見を直接投稿する。  
 このプロジェクトの  
 専用URL <http://www.town.yuza.yamagata.jp/> (PC対応)  
 (e-mail) [youth@town.yuza.yamagata.jp](mailto:youth@town.yuza.yamagata.jp)

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・議員公選事業事務局  
 遊佐町役場総務企画課企画係(担当 村井 仁・土門良則)  
 〒999-8301 遊佐町大字遊佐町舞鶴211 TEL.0234-72-3311

届け出は

FAX.0234-72-3310

遊佐町少年町長・少年議員

投票用紙

立候補者氏名	性別	地区	所属
後藤 丞	男	高瀬	県立酒田工業高等学校2年
斎藤 千絵	女	遊佐	県立遊佐高等学校2年
池田 裕紀	男	遊佐	県立遊佐高等学校2年

① 遊佐町少年町長(1名)  
 あなたが、少年町長としてふさわしいと思う一人だけ○をつけてください。  
 ※二人以上○をつけたり×などを記入すると無効となりますので、注意してください。

② 遊佐町少年議員(10名)  
 定数が、十名に対して立候補者が十名でしたので、左記の十名が当選と決定しました。従って投票はありません。

立候補者氏名	性別	所属
狩野 未来	女	県立酒田商業高等学校2年
佐藤 慶	男	県立酒田工業高等学校2年
赤塚 縁	女	酒田市立中央高等学校2年
菅原 啓志	男	県立遊佐高等学校2年
佐藤 千広	女	県立遊佐高等学校2年
高橋 慶充	男	県立酒田西高等学校3年
池田 賢介	男	県立酒田西高等学校3年
伊藤 一徹	男	県立酒田西高等学校3年
時田 彩乃	女	町立遊佐中学校2年
富樫 結花	女	町立遊佐中学校3年

Youth President's Election 2003 in YUZA

① あなたは、これからの遊佐町がどんな町になっ  
 てほしいとねがっておりますか。  
 自由に記入ください。

② あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを  
 実現してもらいたいとおもいますか。  
 自由に記入ください。

遊佐町少年町長・少年議員公選投票のお知らせ

●投票日 七月十日(木)～十三日(日)「午後五時まで」  
 ●投票場所 遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館、  
 遊佐駅、吹浦駅  
 その他、各高等学校や中学校でも投票できます。学校によっては投票所を設置していませんので、その場合は、前記の場所ですべてに投票してください。

Youth President's Election 2003 in YUZA

# 選挙公報 Vol.1

明日の遊佐町に  
はやくたくわは  
わたしたちは  
選挙します

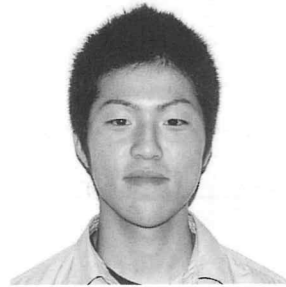


立候補者はどんな人、どんな夢をもっている人かを参考にして選んで下さい。

遊佐町少年町長・少年議員公選投票のお知らせ

- 投票日 7月10日(木)～13日(日) [午後5時まで]
- 投票場所 遊佐町中央公民館・遊佐町立図書館・遊佐駅・吹浦駅  
その他、各高等学校や中学校でも投票できます。学校によっては投票所を設置していない高校もありますので、その場合は、上記の場所で忘れずに投票してください。

## 遊佐町少年町長立候補者



県立酒田工業高等学校2年 (地区●高瀬)

ごとう たすく

### 後藤 丞

- Q. 少年町長に立候補した理由は?
- A. 以前から、遊佐町をかねるような催しに参加したり、遊佐のことをもっと詳しく知りたいと考えていた。そのための機会だと考えました。
- Q. どんなまちにしたいですか?
- A. 他の大きな市のように、若い人がたくさん集まり、楽しい町にしたいです。また、一度遊佐に来た人がもう一度きたいと思うような町にしたいと考えています。

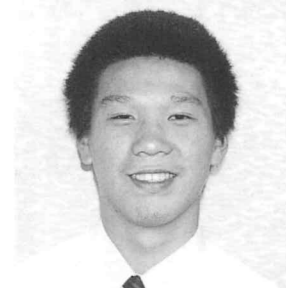


県立遊佐高等学校2年 (地区●遊佐)

さいとう ちえ

### 斎藤 千絵

- Q. 少年町長に立候補した理由は?
- A. これまで町のボランティアに参加したりしていたので高校生が参加できる町の事業にぜひ参加したいと思い立候補しました。
- Q. どんなまちにしたいですか?
- A. 遊佐は、地域が離れているので、街灯をつけたりなどして小さい子どもからお年寄りまで、安心で安全なまちにしたいです。



県立遊佐高等学校2年 (地区●遊佐)

いけだ ゆうき

### 池田 裕紀

- Q. 少年町長に立候補した理由は?
- A. 遊佐をスポーツで活気のある町にしたいし、楽しく暮らせるような町にしたいです。また、みんなが自由に使えるフットサル場を実現したいと思い立候補しました。
- Q. どんなまちにしたいですか?
- A. 楽しく、活気にあふれていて、自分のやりたいことに力を注げるような町・自然環境に恵まれて、安全、安心な町にしたいです。

※少年議員候補者は裏面をご覧ください。

## 遊佐町少年議員立候補者・当選者



県立酒田商業高等学校2年 (地区●高瀬)

かりのみく

### 狩野 未来

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. あと少しで合併ということなので、遊佐町としての活動にぜひ参加したいと思い立候補しました。



県立酒田工業高等学校2年 (地区●藤岡)

さとう けんじ

### 佐藤 慶

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 遊佐町の多くの町民との交流をとおして、ふれあいのある町を創りたいと思い立候補しました。



酒田市立中央高等学校2年 (地区●吹浦)

あかつき ゆかり

### 赤塚 縁

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 遊佐町のことについて、話し合いを行うのが楽しそうだったので立候補しました。



県立遊佐高等学校2年 (地区●吹浦)

すがわら ひろし

### 菅原 啓志

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 遊佐町をもっと活気あふれる町にしたい。他の町の人々からも気軽に来もらえるような町にしたいと思い立候補しました。



県立遊佐高等学校2年 (地区●遊佐)

さとう ちひろ

### 佐藤 千広

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 遊佐町は、通学路などに街灯が少なく危険なところもあるので街灯を設置したいと思い立候補しました。



県立酒田西高等学校3年 (地区●吹浦)

たかはし のりみつ

### 高橋 慶充

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 酒田からみた遊佐町のイメージをもっとよくなりたいと思い立候補しました。



県立酒田西高等学校3年 (地区●福川)

いけだ けんすけ

### 池田 賢介

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 遊佐町は、自分が生まれた町なので少しでも住みやすく楽しい町にしたいと思い立候補しました。



県立酒田西高等学校3年 (地区●遊佐)

いとう いてつ

### 伊藤 一徹

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 遊佐町を人がたくさんくるような活気あふれる町にしたいと思い立候補しました。



町立遊佐中学校2年 (地区●藤岡)

ときた あやの

### 時田 彩乃

- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 学校への通学路に街灯がなくて危ないので街灯を設置したいと思い立候補しました。



町立遊佐中学校3年 (地区●遊佐)

とがし ゆか

### 富樫 結花

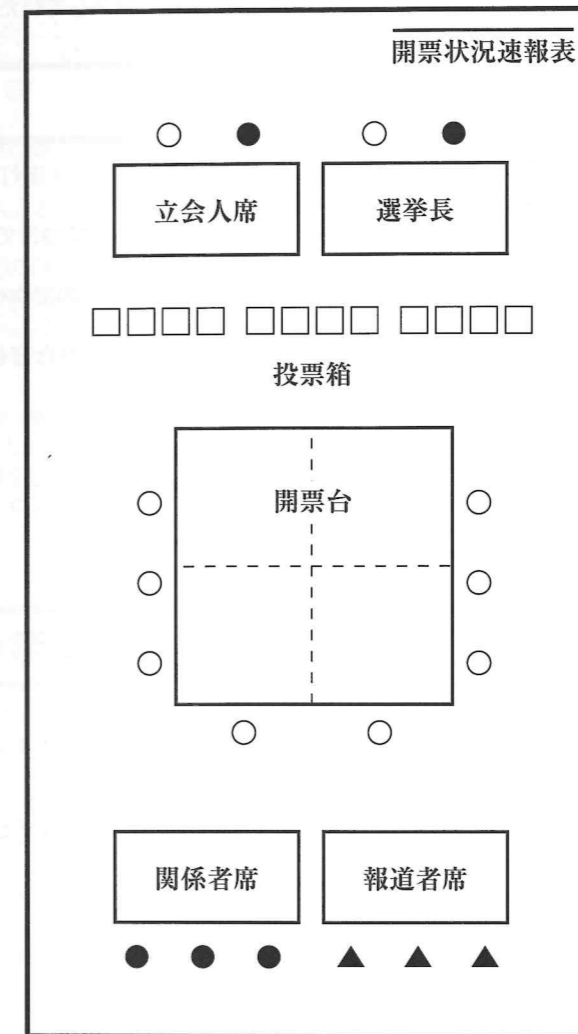
- Q. 少年議員に立候補した理由は?
- A. 自転車での通学で事故を経験し、カーブミラーを設置して安全な通学路にしたいと思い立候補しました。

※少年町長候補者は裏面をご覧ください。

## 選挙公報 Vol.1

○遊佐町少年町長・議員公選事業事務局 ○遊佐町役場総務企画課企画係 (担当/村井 仁・土門良則)  
〒999-8301 遊佐町大字遊佐町舞鶴211 TEL.0234-72-3311  
専用URL <http://www.town.yuza.yamagata.jp/> (1モード対応)  
e-mail [youth@town.yuza.yamagata.jp](mailto:youth@town.yuza.yamagata.jp)





○少年議員(開票) ●町職員 ▲報道関係者

遊佐町少年町長選挙開票結果

○選挙長 狩野未来

届出受理番号	候補者氏名	得票数	備考
1	後藤 丞(ごとうたすく) 候補	449票	
2	斎藤 千絵(さいとうちえ) 候補	171票	
3	池田 裕紀(いけだゆうき) 候補	147票	
有効投票数		767票	
無効投票数		16票	
投票者総数		783票	
開票率		100%	
当日有権者数		1,325名	
投票率		59.09%	

開票日時:平成15年7月13日(日)午後6時40分

開票場所:遊佐町中央公民館 第1・2会議室(2階)

# 有権者(中高生)の提案と政策 (抜粋)

今回の選挙では、投票用紙にまちづくりのための中高生の意見を自由に記入していただきました。その一部を掲載します。

## 安全で平和な遊佐町にしたい

- コメントにもあったのですが、やはり街中にしか街灯が無いのでそこから離れたあたりにも街灯をつけてほしいです。
- 冬などになるといっそう暗くと思うので、明かりがあると安心です。
- 私は自転車通勤で通学していて、そこには電灯がないので夜帰るとき、とてもあぶないのでつけてくれたらと思います。
- 危ない場所の無い街にして、体の不自由な人も安心して外出できる町づくりをして。
- 道路に歩道の無い場所があるので、お年寄りが大変そうだったし、自転車でも危ないのでゆっくりにお年寄りが渡ることが出来る安全な道路のある町にしてほしい。
- 町民みんなが「遊佐町で良かった」と思える町にしてほしいです。そして遊佐町に訪れた方もこんないい町にもう一度来ようと思えるような町にしてほしい。
- 事故や事件が起こらないような、平和で自然豊かな町にしてほしい。
- 自然が多くてみんなが住みやすい町、みんな仲がいい町。
- いじめやけんかがないような町にしてほしい。
- 遊佐町人が全員嫌な思いをしない町にしてほしい。
- みんながみんな信頼できる遊佐町、万引きやたばこのない遊佐町。
- 部落と部落の間に街灯がなく、暗いので、街灯を増やしてほしい。
- カーブミラー、街灯の設置。丸子地区。
- カーブミラーの設置。車の姿が見えず危険なところがあったから。
- 街灯を増やして。杉沢南まで行く。進学路をもうちょっと直線道路にしてもらいたい。
- 稲川、藤崎地区とその周辺に街灯をつけて。
- 富岡地区にガードレールがついてないところがあるので危険だからつけてほしい。
- 見通しの悪い場所への鏡の取り付けなど、安全な場所にしてほしい。
- 安全な町にするため議員の人たちも言っていたように、ミラーをつけてほしい。
- 街灯を増やして。ガードレールを増やして。
- 住む環境はそのままでも十分ですが、道を整備して街灯を増やして、安全なものに作りあげていってもらいたい。
- 学校などへの進学路に風よけや、電灯をつけてほしい。
- 蔵小の方から、中学に行くところに、電灯がないのでつけてもらいたい。

## 福祉の充実した遊佐町にしたい

- 子供からお年寄りまで、安心して暮らせる町！
- 老人を大切に、若い人たちがともに助け合い作り上げていく町。
- 子供からお年寄りまで、安心して安全に暮らせる町になってほしい。楽しい町。
- もっと明るくて、高齢者に優しい町になってほしい。
- みんなが住みやすく、暮らしやすい町にしてほしい。
- 年の差に関係なく小さい子から老人までがもっと気軽に話しかけたりできる町。きれいな町。安全な町。
- 道路に歩道が無い場所があるので、お年寄りが大変そうだったし、自転車でも危ないのでゆっくりにお年寄りも渡ることが出来る安全な道路のある町にしてほしい。
- 安全で遊佐の伝統を守り緑豊かな子供からお年寄りまで楽しく生活のできるような町
- あたたかくて、みんなが協力し合い、笑顔の絶えない町。
- 障害者が安心して暮らせる町づくり。
- 危ない場所のない町にして。体の不自由な人も安心して外出できる町づくりをして。
- 障害者に優しい町。
- 体の不自由な人も、安心して暮らせる、緑がいっぱいある町にしてほしい。
- みんなが住み良い町づくりや、体の不自由な人などの手助けや、もっと活性化につながることをしてほしい。
- バリアフリーのものをたくさんつくってほしいです。
- 世界の貧しい人たちへお金を送る募金活動
- ボランティア活動の活性化
- 遊佐町の若者もお年寄りも協力して楽しい町にしてほしい。
- 体の不自由な人のためのバリアフリーを多くの場所に設置してもらいたい。
- 老人などの怪我がなくなるように、街灯をつけてほしい。

## 自然とみどりの多い遊佐町にしたい

- 山、川、海にごみがなく、豊かな自然がそのままのこした遊佐町になってほしい。
- 誰でも、楽しく美しいと思う遊佐町にしてほしいです。自然豊かなので、これ以上壊さないようにしてほしいです。
- 自然を残し、確実に大きな町にしていったらいいと思います。
- 自然のあふれた、今までどおりの町になってほしい。
- 今よりもっと自然のたくさんある町になったらいいと思う。
- 自然が多くてみんなが住みやすい町。みんな仲がいい町。
- 体が不自由な人も、安心して暮らせる、緑いっぱいあるある町にしてほしい。
- 遊佐町は、山、海に囲まれて、とてもいい環境の中にある町だと思います。それを生かして、より良い町にしていってほしいと思います。
- 町の中心をもっと発展させ、山、海沿いには自然を感じ取ることが出来るような場所を作り、多くの人々から遊佐町の良さを見てもらいたいです。
- 遊佐町はいいところがたくさんあるので、これを生かして有名な町になってほしい、みんなが住みやすい町になってほしい。
- 今、マツ食い虫の影響で、マツがなくなっているのだから、マツの植林を
- せつかく鳥海山や月光川などの自然がたくさんあるのだから。少しでもゴミのポイ捨て減るようになればいいと思っています。
- 駅をきれいにして。公園などの緑を増やす運動をしてほしい。
- 自然豊かな所になってほしい。レジャーパークみたいなところは逆につくってほしくない。
- 遊佐保育園の所の信号の過ぎたところに、花が植えてあります。そんな感じにとところどころの歩道の脇に花を植えて、
- もうちょっと明るくして。
- ホテルが増えるように、川などの場所にもっと自然な環境を増やしてほしい。
- 人がいて、米などを栽培する人が増えてほしい。
- 環境の事を考えてほしい。川などにもゴミのポイ捨てがよく見られるので、きれいにしたり、木がこれ以上減らないように。
- 自然をアピールしまくりたいです。

## 遊佐町のゴミの無いキレイな町にしてほしい。

- 山、川、海にごみがなく、ゆたかなしぜんをそのままのこした遊佐町になってほしいです。
- せつかく鳥海山、月光川などの自然がたくさんあるのだから。少しでもゴミのポイ捨て減るようになればいいと思っています。
- 遊佐町は、自然豊かなので、自然破壊しないで、いつまでもきれいな遊佐町でいてほしい。
- 道端にゴミがない、きれいで自然いっぱい遊佐町。
- 今よりも、空気がきれいで有名な町になってほしいと思う。
- 遊佐町の人にはポイ捨てをしないでほしい。
- ゴミのポイ捨てがないきれいな町になってほしい。他にあまり都会にならないでほしい。
- 遊佐町の公共の場をきれいにして。
- リサイクルを呼びかけて、ゴミを減らしたり、ゴミのポイ捨てなどのマナー違反を減らすポスターの作成など。
- 駅の清掃。
- 遊佐町を清掃する活動多くしてもらいたい。
- 海岸のゴミ拾い、資源回収などをし、町をきれいにしてほしい。
- 遊佐町の各地域のゴミ拾いのようなことをしてみたいです。

## もっと人がたくさん集まる町にしてほしい。

- 自然が多くて、ほかの県の人から遊佐町はいいなと思われる町になってほしい。
- 安全で遊佐町の緑豊かさを他に伝わり、来たいと思われるような町
- 他の県、市、町の人たちが気軽に遊びに来れるような所になってほしい。
- もっと若者あふれる活発でGOODな町にしたい。
- どんな人でも住みやすい町。明るく、地域活動が活発な町にしてほしい。
- 若い人が集まって来るような町を作って。
- 自然や田舎っぽさを残しつつ、人が大勢集まってくるような町。発展してる町。環境がとてもいいと思うので、それを利用してもっと良い町になってほしい。
- 若者が増えるように、活気の町にしてほしい。
- いろんな県とかから観光客とか来てくれるような“有名”な遊佐町にしてほしい。
- 町民みんなが「遊佐町民で良かった」と思える町にしてほしいです。
- そして遊佐町に訪れた方もこんないい町にもう一度来ようと思えるような町にしてほしい。
- ツーデーマーチなどでも知られている遊佐だけじゃなく、もっと全国的に世界に「遊佐」を知らせたい。
- 訪れた人たちに思い出に残る町。鳥海山はいいところなので、もっといろんな人にアピールするべき。
- 鳥海山や観光地をもっとアピールするべき。
- 遊佐町以外でも遊佐町は素晴らしいところだと思えるようなことをしてほしい。
- 遊佐町は自然がたくさんあって、いい町なので他の町、市などに遊佐をもっとアピールしてほしい。
- 自然豊かな遊佐のイメージを崩さず、もっとアピールして知ってもらいたい。デパートや遊び場所があればいい。
- 観光客をもっと増やすアピールや、観光スポットを増やしてほしい。
- 都会の人とかも、遊佐町のことを少しでもわかるようにしてもらいたい。できるだけ。
- もっと交通の便を良くし、人が沢山くる町になってほしい。

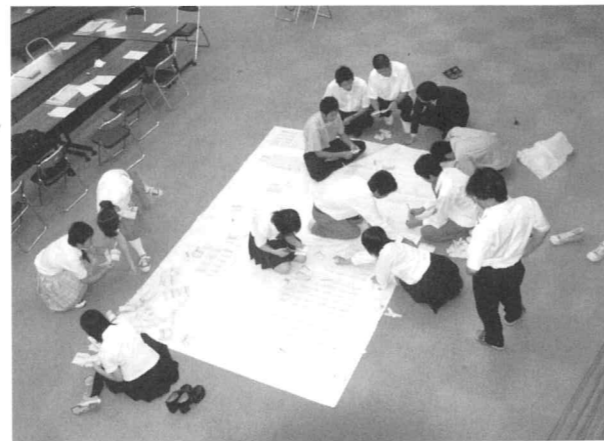


## 町民が元気な遊佐町にしたい

- 皆が触れ合うような企画などを実現して。
- たのしい企画などをして、交流やみんなが楽しめる町。
- 町の感じが明るくなるようないろんな計画を立ててほしい。
- 遊佐町内のイベントをたくさんしてほしい。
- 遊佐町民みんなが、元気で笑顔あふれる遊佐町にしてほしいです。
- 小、中、高校、合同イベントをやってほしい。
- 伝統を守りつつ、新しいことに積極的に挑戦できる町。
- 何か、行事を実行して。市に住んでいる人をさそって。
- 自然いっぱい遊佐町なので、自然を生かして他の地域の人とも仲良く交流できるような町になってほしい。
- 地域は遊佐、稲川、吹浦などや、ほかの町、あるいは県外との交流など。
- 他の市町村との交流も積極的に取り入れて、緑豊かな町であってほしい。
- ツーデーマーチみたいな行事を増やして。
- このままの自然のままがいい。イベントなどしてほしい。バンドとか、遊佐駅にあたらしいトイレをつくってほしい!!
- なるべく、自然破壊をしないように呼びかけたり、実際に自然破壊をしない品物売る。
- バスケやサッカーなどのスポーツができる場所ができ、大会などをできる町になってほしい。
- ボランティア活動とかすると、他の地域の人と交流があるけど、高校生や中学生(部活で忙しい人々を...)と地域の人との交流の場が増えてほしい。

## 施設が充実した遊佐町にしたい

- 子供の遊び場を増やしてほしい。
- もっと歩道を広くして、みんなで遊んだり、ゆっくりできる公園がほしい。ブランコとかベンチ。店を増やして。
- 自然豊かで明るく、全国の人が知ってくれる町にしてほしいです。図書館が遊佐中の近くに1つほしい。
- 子供たちが自由に遊べるような施設がほしい。
- 街灯をもっとつけてほしい。花、緑をもっと増やしてほしい。プールを作って。遊佐町民が遊べる場所。
- サンスポに芝生を敷いて(サッカー用)。
- いろいろと楽しめる施設を作って。フットサル場、バッティングセンターなど。
- みんなでおもいっきり遊べる広い遊び場(野球場)などを作って。
- フットサル場など気軽に室内でサッカーができる所。
- 筋肉トレーニングセンターを作って。ダンベル、ランニングマシンなど
- 吹浦の児童公園にバスケのリングを設置して、トイレもきれいにしたい。
- スケボーのパークをつくって。
- テニスコートを増やして、卓球場がほしい。子どもの考えをいれてほしい。
- 町体の近くにバスケットコートを作って、雨や雪の日やナイター設備もして。
- 観光客を増やすアピールや、観光スポットを増やしてほしい。
- 遊佐町にはスポーツを楽しむ場所が少ないので小さい子どもから大人まで楽しんでスポーツができる場所を作って
- 遊佐にもっと服屋、ショップを作ってほしい。
- ビデオショップを作って。
- BMXの練習場を作って。
- 天狗森スキー場再開して。
- 昔のお菓子屋を作って。今、菅里に展示されているもの。
- 今以上に活発な町(商店街などがもっとほしい)



## 若者の就職先を増やしてほしい

- 就職先を増やしてほしい!
- 若い人が就職できる場所を増やしてほしい。
- 若者が働ける町。
- もっと仕事面を充実させ若者も高齢者も住みやすい町になってほしい。
- 自然を生かしたたのしい施設を作ってほしい、就職先を増やしてほしい。

## 遊佐駅をきれいにしてほしい

- 駅の清掃
- 町をきれいにしてほしい
- 遊佐、吹浦両駅の新築
- 遊佐駅に新しいトイレを作ってほしい
- 駅の中がさびしいので、華やかにしてほしい
- 駅のトイレを新築して観光客がたくさん来るようにして。街灯を新しくして。
- 電車をもっと動くようにしてほしい。

## 国際交流をさかんにしてほしい

- 国際交流がより盛んな町
- 自然をいっぱい残しつつも、さらに発展してほしい。行事の時は大盛り上がりできて、色んな国と交流してほしい。
- 犯罪「0」、交通事故「0」の安全な遊佐町。ゴミのポイ捨ての無いクリーンな町。

## あいさつあふれる町にしたい

- 明るい町。自然と笑顔がこぼれる町。
- あいさつが、あふれる明るい町になってほしい。あいさつがきちんとできて、明るい遊佐町にしてほしいと思います。
- あいさつがあふれて、明るい町。安全で安心して過ごせる町。
- 町の危険な場所をすぐに直してほしい。進んであいさつをする人が増えるようにして。
- 町の人にあいさつを増やすように呼びかけてほしい。
- 笑顔とあいさつがあふれる遊佐町にほしい。
- 明るい、あいさつがとびかう、住人にとって住みやすい遊佐町。
- 明るく楽しい町になって、一人一人の心が暖かい町になってほしい。
- 花がたくさんあり、あいさつが絶えない明るい町。
- 町中あった人があいさつをして、そのあいさつが返せるような明るい町を実現してもらいたい。
- あいさつが交わせる町づくり。
- あいさつが多く、飛び交うような町づくりをして、今よりゴミの少ない町にほしい。
- 年齢に関係なく、毎日あいさつが飛び交う仲の良い町になってほしい。
- みんながあいさつを交わす、明るい町になってほしい。
- 小さい子どもから、老人の方が笑顔であいさつを交わすような町
- 気軽にあいさつができる明るく、楽しい町になってほしい。
- 元気で明るい町 あいさつを相手がしなくても自分からできるようなそして返せるような町。
- あいさつ運動をしたらいいと思う。
- 遊佐町のあいさつ運動。

## 市町村合併について言いたい

- 私は合併してほしくないけど、遊佐やいろんな町が集まってとても活気良い市になってくれるとうれしいです。
- 市町村合併を決めるのを絶対に住民投票にしてほしい。
- 市町村合併やめてください。遊佐町だけでいいので。
- 合併を取りやめることを実現してもらいたい。合併しなくてもやっていける方法を考えてほしい。
- フットサル場を作るとか、新しいことをやる前に、むしろこっちは真剣に考えてほしい「遊佐町」を残してほしい。
- 遊佐町は今のまま明るく豊かで楽しい町であってほしい。そしていつまでも変わらない遊佐町の名前が残るといい。

## 有権者からの少年町長・少年議員へメッセージ

- 遊佐町にとって良い町になるようにがんばってもらいたい。
- とにかく中学生、高校生代表としてがんばってほしい。応援しています。
- 少年町長、議員が理想とすることをがんばって実現して。
- 大人が考えもつかないようなbigなことをしてほしい。期待しています。
- 本当の議員に負けないでほしい。
- でかいことをぜひ実現してほしい。自分たちが実現したいことを一生懸命がんばってほしいと思います。
- 遊佐町が良い町になるがんばってほしい。
- 中学生、高校生の代表が頑張ってください。
- あまり高望みせず、自分ができるところを見つけてどんどん実行してほしいと思います。
- 少年だからできること、少年こそができることがあると思うので、それを頑張ってください。
- とにかく精一杯頑張ってください。
- 自分が決めた目標を最後まであきらめないで、がんばってもらいたい。
- 若い力で、未来の遊佐のために頑張ってください。
- 大人の固い頭では考えつかないような、遊佐町民が1つになれるようなイベントや、子どもの目から見た危険なところを無くしてください。
- 高校生や中学生などの遊佐町に対する意見を聞いて、どんどん取り上げて実行してもらいたい。
- この「いなか」のイメージのまま、「新しいいなか」のイメージをつくってほしい。
- 町に自分の考えをしっかりと会議で伝えてほしい。そして、もっと遊佐のイベントを増やして。
- 中学生だから、高校生だから出せる意見というものがあると思います。ぜひ、それをどんどん出し合って楽しく町づくりしてほしいです。
- 町の人が望む事を生かして、いい町にしてください。
- 大人も子どもも区別なく、活発な話し合いができる町にしたいです。あと、明るく平和になるようがんばっています。
- みんなが納得いくようなことを実現し、みんなに喜ばれるようなことをしてほしいとおもいます。
- 自分たちぐらいの人たちのなので、自分たちにより近く、たくさんの方のことを実行してほしい。街灯が本当につくといいです。
- みんなの意見を取り入れ、それをできるだけ実行して。
- 町長や議員がそれぞれ実現したいと思っていることを実現して、私たちのためになるようなことをしてほしい。
- 若い世代らしい活発な活動を行ってほしい。若者がたくさん集まるような工夫して。
- 明るい町にしてください。そのための話し合いなどして、町の人に呼びかけて「新たな遊佐町」を実現してもらいたい。
- 町議会で可決されるような、きちんとした議案を出し合ってもらいたい。
- あまり高望みせず、自分が出来ることを見つけてどんどん実行してほしい。
- 少年だから出来ること、少年こそ出来ることがあると思うので、それを頑張ってください。
- 明るく自然もいっぱいあって、これからの遊佐町を変えてくれるような動きをしてほしい。
- 町長、議員さんから楽しい町づくりに力を注いでほしい。
- 遊佐についてもっと話し合い、詳しくなった上で、それをみんなに伝え、新しいことをしてほしい。
- 子どもの目線から見て気づくことを1つ1つ実現させてほしい。
- みんな困っていること改善して。
- 危ない所を直して。子どもの心で遊佐を見つめて、素晴らしい遊佐をつくってほしい。
- わたしたち、未成年の意見などを取り入れた、明るい町。



## 少年町長・少年助役・少年議員

### 政策提言 I

後藤 丞◎少年町長以下全少年助役・少年議員

#### 【有権者の望む政策・私の政策】

平成15年10月11日◎第7回少年議会

### 少年町長 後藤 丞



私が少年町長の後藤丞です。住んでいる所は、高瀬の北目地区です。今は、酒田工業高校に通い、文武両道でがんばっています。

今は、少年町長という役職につかせてもらっていますが、少年町長になる前よりも遊佐の自然や施設、安全面などのことを深く考えたり、周りをよく見たりするようになりました。だから私は、少年町長になって、より自分の町に対して親身になれたのでとても良い経験になっています。

今回の有権者の意見で私は、「遊佐がどんな町になってほしいか」という意見を集約しました。その中でも「自然を残してほしい。遊佐の環境をこのままに、遊佐の伝統を守ってほしい」などの意見が多かったようです。この意見は、若い人だけではなく遊佐町民の大半が望んでいることだと思います。現在の遊佐で一番誇れる物といったら、やはり「山、海、川」がそろっている自然が一番にでてくるでしょう。しかし、意見の中には「ショッピングセンターを作してほしい、もっと都会のようになってほしい」などの意見もありました。この2つの意見は、一方を実現しようとするともう一方は失われてしまいます。しかし私は、両方を実現したいと思っています。

自然は、一度壊してしまうとまた取り戻すまで何十年という月日がかかってしまいます。しかし、その自然を壊さないと充実した施設は完成できないと考えられます。また若者が楽しめる施設がないと、私の公約にある、若い人が来る町にはなっていないと思います。だから自然と施設の調和をうまく機能させるために私が考えたことは、自然を残したり、施設を作ったりするのではなく、両方を掛け合わせた「自然を生かした施設」のような新しい物を作っていくことが大切になるのではないかと考えております。

次に私の政策について述べたいと思います。私は、立候補した時にも言ったとおり「若い人が集まり、活気のある町や遊佐に来た人がもう一度来てみたい」と思うような町づくりをしていきたいと思っています。この政策を実現するためには、遊佐だけでなくほかの町や今の若い人達が興味を示すようなイベントを考えていかなければいけないと思います。

最後に自分がこれからの「まちづくり」でやっていきたいことは、前にも言った政策のようにもっと遊佐町民以外の人達から遊佐の良い所を知ってもらうことです。そのため遊佐町に足りないこと、充実していることを少年議会の中で把握していき、少年議員の人達と良い話し合いをしていきたいと思っています。

### 少年助役 斎藤 千絵



遊佐町少年助役をしている斎藤千絵です。私は現在、遊佐高2年で遊佐の野沢に住んでいます。

議員になってから6回の議会を行い、盆踊りにも参加しましたが、私にとってとても良い経験になっています。遊佐町の事について話し合うということも、遊佐の行事に参加することも、このような機会であればなかなかできないことだと思います。大変ですが毎回楽しみながら参加しています。また有権者の意見を見ると、皆さんが遊佐をどんな風に考えているかを知ることができ、同感することや感心することなど、たくさんの意見があり、毎回とても新鮮です。

そのたくさんの有権者の意見の中から、私は「キレイな町にしてください」という意見を皆さんに伝えたいと思います。

まず、「道ばたのゴミのポイ捨てを無くしてほしい」という意見が最も多く、具体案としても、「ゴミ拾いや、ポイ捨てなどのマナー違反を減らすポスターの作成をしてほしい」との意見がでてきます。

次に多かった意見は、「遊佐町にある山、川、海などの自然を残してほしい」というものです。この場合も、自然をキレイなままに残してほしいということで、鳥海山や月光川、海岸のゴミ拾いや清掃をしてほしいという具体案があがっています。

他には、遊佐駅など公共の場の清掃やリサイクルを呼びかけ、ゴミを減らして欲しいとの意見も出ています。

私自身、通学時に道ばたのゴミを見ることも多く、先に述べたような意見がでるのも納得がいきます。学校で海岸清掃をした時に、そ



のゴミの多さに驚きましたし、1回で清掃できる量に限界があるとも知りました。

このことから、有権者の「自然を残したままで、ゴミのないキレイな町にしてほしい」という要望のために私たちができることは、ゴミ拾いなどの清掃活動、呼びかけの強化ではないでしょうか。

また、私個人としての政策も述べたいと思います。

私は、「街灯を増やして安全な町にしたい」という理由で立候補しました。そして議長である慶くんの意見にもありましたが、有権者からも「街灯をつけてほしい、カーブミラーをつけてほしい」という意見がたくさん出ています。場所も具体的にたくさんあげられています。つまり、それだけ皆さんが危険だと思っている場所が多いということです。また、冬に歩道の除雪ができておらず車道を通りしかなかったり、そもそも歩道がなく、子供やお年寄りが通るには危ない所などもたくさんあります。しかし、どんなに直してほしいと思う所があっても、個人でどうにかできることではないのです。ましてや私たちの年齢では、町に意見を伝えることも難しいのです。だからこそ少年議会の一員として直接意見を伝える機会を得ることができた私が、安全な町にできるよう頑張りたいと思います。

そして、私がまちづくりのためにできることは、少年議会に参加し、中高生の意見を知ることができたという貴重な経験を生かし、イベントに積極的に参加したり、ボランティアに参加して清掃活動に協力したりと、有権者の意見を個人のレベルからですが実現していくことだと思います。議員である今はもちろん、任期が終わってからも、この体験を忘れずに遊佐町のためにがんばります。

## 少年助役 池田 裕紀



遊佐町少年助役を任された池田裕紀です。平津新田に住んでいます。遊佐高に在学中です。

議員になってから、6回の少年議会、遊佐の盆踊りに参加しました。私にとって、それらの活動はとても貴重な経験になっています。遊佐町の事を話し合ったり、遊佐町の行事に参加したりなど、このような機会がなければ出来ないような経験なので、楽しみながらしています。また、有権者の皆さんの意見を見せていただき、皆さんが遊佐町をもっと良くしたいという気持ちが伝わってきました。

そのたくさんの有権者の皆さんの意見の中から、私は「施設・店・運動場を作ってほしい」という意見を皆さんに伝えたいと思います。

まずフットサル場、バスケット場、プールなどの室内、室外に限らず、遊佐町に運動施設を作ってほしいという意見が最も多くいただきました。私も前からこのような施設がほしいと思っていたので、その意見には賛成です。理由としては、小さな子供から大人まで楽しんでスポーツが出来る施設があれば、人は自然に集まってくるし、皆さんが楽しいと思えるので、フットサル場、バスケット場、プールなどのスポーツ施設はほしいと思います。

次に、遊佐町に「もっと店がほしい」という意見が多くありました。その中で大きなショッピングセンターがほしいなどの意見が一番多くありました。しかし私からすれば、大きな店が出来れば、小さな店の営業が苦しくなるので、大きな店はほしくないと思います。

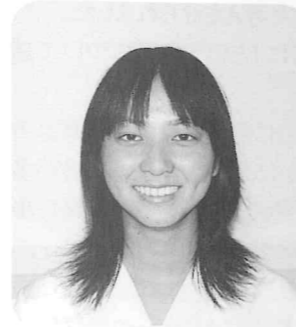
私個人の政策は、フットサル場などのスポーツ施設を作って、皆さんに楽しんでもらうことです。私としては、やっぱりスポーツ施設がほしいと思います。理由としては、スポーツを通して、この町を活発にしたいと思っています。そしてそこから友達を輪を広げてほしいと考えています。

最後になりますが私が、この町のためにやっていきたいことは、遊佐町の行事に自ら参加して、遊佐町がどんどん良くなるようにお手伝いをしていきたいと思っています。

## 少年議員 狩野 未来

私は、少年議員の狩野未来です。高瀬の畑地区出身です。現在、酒田商業高校に通っています。

今まで私は、遊佐町のボランティアサークル「Jボラン」と「くじら」で、遊佐町の行事・活動に参加してきたので、それなりに遊佐町につ



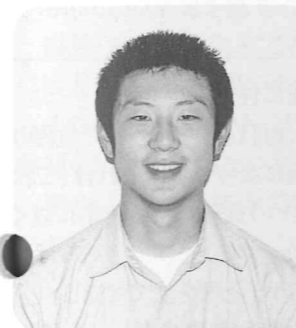
いて知っているつもりでいました。少年議員になる時も、これからの遊佐町の発展に、自分の経験が生かせればと思っていました。しかし実際に少年議員になって、盆踊りに参加した時、私は盆踊りがいつあるのか知りませんでした。ゆうすい、ツーデーマーチでのあいさつ、盆踊りへの参加は、今までになかった新しい経験であり、遊佐町に貢献できたと思える事でした。それは、少年議員になったからこそ得られた経験であると思います。

今回、私が担当した有権者の意見は「あいさつ」についてです。その中でも特に、『人々が気軽にあいさつが交わせる町にしてほしい』『あいさつ運動が盛んな町にしてほしい』という意見が目立ちました。それについて、私も遊佐町が気軽にあいさつのできる町になればいいと思います。以前、酒田で信号待ちをしている時、近くにいた高齢の方が、気がねなく話しかけてくれたことがありました。遊佐

は、そんな事は考えられなかったので大変驚きました。遊佐でもそんな風に知らない人でも関係なく、声をかけられるようになってほしいと思いました。

このような町にするには、まず駅の改札を抜ける時、駅員さんがあいさつをした時、それにあいさつを返すことから始めたら良いと思います。そのために私はこの毎日の何気ない「あいさつ」から始めていこうと思います。そして、身近なところから始めて、いずれは「あいさつ」が皆さんの中で当たり前のことのようになることを望んでいます。

## 少年議員 佐藤 慶



遊佐町少年議員の佐藤慶です。出身は蕨岡で、酒田工業高校に在学しています。部活動は陸上競技部に所属しています。

自分は遊佐町の町民の人達や若い人達が、もっとふれあいのある活気のある町にしたいと思い、議員になりました。

今日は、有権者の皆さんから寄せられたたくさんの声や要望の中から、町内の「安全」について要求・提案をします。一番多く寄せられたのは通学路の安全を確保してほしいとのことでした。各地区とも通学路に街灯が少なく、暗い中を帰るのが不安に思っている人が多くいる様です。また、道路の狭さやカーブミラーの設置場所、自動車の往来が激しく危険な所など道路の整備についての声も多く寄せられました。冬に雪が積もると車道は除雪しますがなかなか歩道まで除雪している所

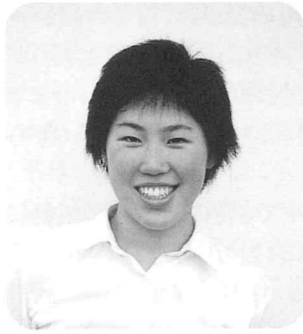
が少ないと思われまます。皆さん、大変な思いで通学しているようです。

特に、近頃では犯罪に巻き込まれるような危ない時代だと感じます。ニュースや新聞などの報道を見たり読んだりすれば一目瞭然です。安全な登下校を考えれば、まず通学路を街灯で明るくする事が、一番の要望です。それに、遊佐町の自然をいっぱい残しつつ、みんなお互いに信頼できる住みやすい町になり、青少年の犯罪や事故のない平和で安全な暮らしができる、そんな町になってもらいたいとの声も多くありました。このように有権者の皆さんは、平和で自然豊かな遊佐を求めているのではないのでしょうか。私はそう感じました。

## 少年議員 赤塚 縁

私は少年議員の赤塚縁です。現在、酒田中央高校2年で吹浦の横町に住んでいます。

今回実際、議員になってみて感じたことは、有権者の意見を反映、実現させることの難しさと、町の皆さんが楽しめるようなイベントの内容等を自分達で実際に考えることの大変さです。これまで、参加どころかあまり興味を持つこともなかった遊佐町のいろいろなイベントに、多くの人が参加し、参加する人が楽しんでもらえるように、町長をはじめ一生懸命に考えていたのだということ、自分がこの仕事に携わってみて初めて気づきました。また遊佐町に住んでいる自分達と同じ位の年の人達が遊佐についてどのような意見を持っている



かということを経験として聞く機会もでき、自分も遊佐町について改めて色々考えさせられました。そして、この有権者の意見の中から、私は遊佐町を「福祉の充実した町に」という意見について述べたいと思います。

まず、福祉について寄せられた意見の中で最も多かったのは、お年寄りに限らず、子供や障害者の方々も安心して歩けるような安全な町にしてほしいという意見です。確かに、遊佐町は高齢者が多く、近年バリアフリーの必要性が叫ばれています。しかし実際、町中を歩き見渡してみれば、道路に歩道が無かったり、歩道があってもきちんと整備されておらず歩きにくかったり、危険な場所にもかかわらず街灯やカーブミラーがない状態です。事実、暗くなって学校から帰る時など、歩道もなく真っ暗な道を歩くというのはとても怖かったし、冬場は雪が降ったりすると、すべり道も見えにくいので、私も

これは高齢者にとっても子供にとっても安全ではないと思います。ですから、もっと町の至る所に街灯を設置してほしいと、日常生活の中で日頃感じていました。その点を自分の政策として実現させたいという思いもありました。有権者のこういった意見というのは、どんなに強く思っている、なかなか反映させることはできません。「どんなに不便だ」、「危険だ」と思っている、それを伝えることは容易ではありません。ですから今回の私達の意見を普段、車より歩道を利用することの多い者からの高齢者やバリアフリーに対する視点として、道路の安全性というのをぜひ検討、改善していただきたいと思っています。

それから、私は今回のこの議員としての体験を生かし、今までできて興味が無かった遊佐町のイベントなどにも、もっと町民として積極的に参加し、遊佐を盛り上げ、活気のある町になるよう、協力していききたいと思います。

## 少年議員 菅原 啓志



少年議員をやっている遊佐高校2年の菅原啓志です。吹浦地区の女鹿に住んでいます。

少年議員になってみて、遊佐町の行事に参加していなかったのですが、8月14日に行われた盆踊りに参加してみて、予想以上の盛り上がりにとっても驚きました。もし少年議員になっていなければ、これからは盆踊りを含めた遊佐町の行事に参加しなかったと思います。またこういう責任のある仕事に就く機会が無かったと思うので、本当に少年議員になって良かったと思いました。

有権者から寄せられた企画や行事についての意見で「遊佐町民が楽しめる企画を立ててほしい。」という意見に対する要望を伝えようと思います。皆さんがふれあうような企画の実現や楽しい企画など、有権者から寄せられた交流につながる具体案は、「バスケやサッカーなどのスポーツができる場所をつくり、大会などができる町になってほしい。」「祭りを増やしてほしい。」などの意見がありました。

それらの意見に、私は同感します。私は、スポーツが好きで他にも、スポーツを好きな人がたくさんいると思います。祭りなどの行事をすることにより町民が楽しめて、ふれあえる機会が多くなり、祭りの規模が大きくなるにつれて、遊佐町民だけでなく他の市町村から来る人も増えると思います。それがきっかけで他の市町村との交流にもつながるのではないかと思います。だからこういう行事をすることに対して賛成です。

自分が個人的に考えている政策は、遊佐町を今まで以上に活気あふれる町にしたいと思っています。それから、他の市町村から「気軽に遊びに来たい」と思われるような町にしていきたいとも思っています。

最後に私が「まちづくり」のためにやっていきたいことは、有権者から寄せられた意見を実際に実現させるようにがんばっていくことだと思います。

## 少年議員 佐藤 千広



私は、少年議員の佐藤千広です。野沢に住んでいて、今は遊佐高等学校に通っています。

私は、遊佐町をお年寄りも子供も安全に暮らせて、イベントが多く活発で明るい町にしたいと思っています。

議員になって休みが減りましたが、とても楽しいです。議会で意見を出し合ったり、話し合ったり、時々違う話もしてありますが…。

私が議員になって変わったことがあります。それは、政治に対する考え方です。今まで見なかったテレビ中継での国会を見るようになりました。

次に有権者の自然についての意見をまとめました。その結果、大きく3つに別れました。

まず、遊佐町を自然・緑の多い町にしたいという意見でした。

山、川、海、きれいな空気、水をありのまま残した緑豊かな町にしたいという意見がとても多かったです。

次に、遊佐町の自然をアピールしたいという意見。

遊佐町は、山、川、海に囲まれて、とても良い環境の中にあります。それを生かして自然を感じ取ることができる場所を作って、遊佐町の自然をアピールしたいという意見でした。

最も多かった意見が、遊佐町の自然を守りたいという意見でした。

木が枯れたら、また木の植林を行い、できるだけ自然を減らさないようにする。地球温暖化など自然破壊をしないように呼びかけ、自然破壊をしない品物を買ってほしいなどという意見が多かったです。

私は、この意見を見て、3つともとても大切な意見だと思います。

自然・緑を残していくことは、遊佐町だけでなく、世界中で大切なことだと思います。自然をアピールすることも、遊佐町を発展させるには大事なことだと思います。私はこの意見を、みんな取り入れていくべきだと思います。

その一歩として自分にまずできることは、もっと自然を大切に、自然への害を減らすためにゴミを絶対にポイ捨てしないで、有害な物質をなるべく出さないようにしたいと思います。

明るく活気ある、安全で自然がたくさんある遊佐町にしていくために、少年議員でもっと意見を出し合い話し合っていきたいと思っています。

## 少年議員 高橋 慶充



私は少年議員の酒田西高3年高橋慶充です。私が議員になって感じたことは、遊佐町の中高生の代表として少年議会で話し合い、活動することは、とても責任の重いことだと思います。中高生から寄せられた意見は、遊佐町の中高生が何を考え、どこに不満を持っているかなど知ることができる大事なものです。私はこの意見要望を見て、自ら立候補して、少年議員になった以上、少しでも意見に答えていかなければならないと思います。

また、町の施設の視察で老人ホームに行った時、部屋の数不足、入所できない入所希望者がいることなど、今まで知らなかったことを知ることができ、より遊佐町に関心を持つことができました。

次に、中高生から寄せられた意見を述べたいと思います。

まず「若い人が働ける職場を増やしてほしい」という意見が寄せられました。つまり遊佐町には若い人が働ける職場が少ないということです。若い人の働ける職場が増えれば、自然と遊佐町にも若い人が増えると思います。そうすれば町の活性化にもつながると思います。「町長さんが頑張って企業を呼んで下さい。」と若者の代表として伝えたいと思います。



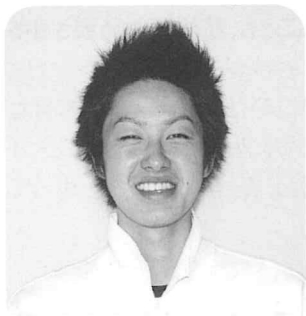
次に遊佐駅、吹浦駅について要望が寄せられました。

まず「駅をきれいにしてほしい」という意見と「改築、新築をしてほしい」という要望が寄せられました。私も駅を利用していますが、確かに汚れていると思います。駅は他の地区から来る観光客も利用します。言ってみれば駅は、「遊佐町の顔」ともいえる場所だと思います。駅をきれいに、「また来たい」と思うような駅にしてほしいです。しかしこの駅が汚れる原因というのは、単なる老朽化だけではなく、駅の利用者が、汚しているということもあるはずで、これは利用者のモラルの問題であるので、もっと呼びかけや、看板などが必要だと思います。例えば、夏など若い人たちがたくさん海に遊びに来たりすると思います。電車の本数が増えれば、日帰りの観光客も増えると思うので、電車の本数を増やした方がいいと思います。

次に、私自身の政策について述べたいと思います。私は遊佐町のイメージがもっと良くなればいいと思います。そのために、まずは、遊佐町民の「遊佐」に対するイメージを良くするべきだと思います。町民が持つイメージを良くすれば、その町民たちが酒田や鶴岡などの他の地区の人たちに、例えば「遊佐はいい所だよ」と話して、その人たちの持つイメージも良くなるはずで、ですからまずは町民の持つイメージを良くしなければなりません。そのために大事なことは、もっとより多くの民意を反映させ、できるだけ多くの要望に応えていかなければならないと思います。

最後に、私は遊佐町の少年議員として活動してきて、たくさんの人々が、何を考えて生活しているかなどを知ることができました。また、この活動を通して前よりもっと遊佐町の行政について関心を持つことができました。私はこの経験を生かして、将来は、遊佐町の行政に携わる仕事に就きたいと考えています。

## 少年議員 池田 賢介



私は山形県立酒田西高等学校3年、池田賢介です。

私が少年議員になってみての感想は、遊佐町に議員になる前より関心を持ったことです。議員になる前も多少は持っていましたが、議員になったことで道路やカーブミラーなどの交通環境について関心を持つようになりました。理由は危険な環境にいる町民を助けたいという思いからです。「その思い」がより一層、中高生の代表としての自覚を大きくしたと思います。

有権者の中高生がどのような遊佐町にほしいか、様々な意見が集まりました。その中でも私は市町村合併について述べたいと思います。市町村合併に対しては「住民投票をして合併を決めてほしい」という意見がありました。現在の遊佐町は住民の方々の働きによって成り立っているものだと思います。従って、住民投票をして合併を決めるという意見に私は賛成します。他に「合併を取り止める

ことを実現してほしい」という意見もありました。私はまず住民の方々に、市町村合併がどのくらい進んでいるのかを知ってもらうことから始めるべきだと思いました。なぜなら私の友達も市町村合併についてあまり知らなかったので、おそらくこの意見をだしてくれた人もあまり合併について知らないと思います。だからまずは合併について知ってもらうことが大事だと思いました。合併のことを知ってもらった上で本当に賛成なのか反対なのか聞くべきだと思いました。そのことが「住民投票で市町村合併を決めてほしい」という意見の実行にもつながると思います。

以上のことから私の政策としては、遊佐町の住民の方々にまずは市町村合併について知ってもらうことから始めるべきだと思います。それが住みやすく、楽しい街づくりへの第一歩だと思います。

これからの遊佐町を楽しく、住みやすい町にしていきたいと思っています。そのために合併問題については若者の間で話し合ってみたいです。また町民の身近な問題である交通環境の整備も実現したいです。そして街の活気のためにバスケットリングの設立やイベントの実施などを通して「住みやすく楽しい街づくり」を実現させたいと思います。

## 少年議員 伊藤 一徹



僕は、遊佐町少年議員の伊藤一徹です。酒田西高3年です。僕が議員になったのは、友達から誘われたのがありますが、初代ということで自分の故郷を中高生の考えで変えていく最初の高校生も悪くないと思い立候補しました。

議員になってみての感想は、自分自身での意見はあるのですが、なかなか考え通りのものにはならない部分もあり、実際、国会議員達の各政策を国の動きとして実施していくのは「もっと難しいんだな」と近頃テレビや新聞を通じて感じています。

僕たちが議員に任命された時に有権者である中高生にどのような遊佐町にしてもらいたいのか、いくつか要望を一緒に書いてもらいました。その中で僕は有権者が「少年町長、議員にどのようなことを期待しているのか」について述べたいと思います。最も多かったのは「若者にしかできないことをして

楽しく明るい町にしてほしい」。他には、「新しい遊佐町」、「新しい田舎にほしい」、「子供の目線で気付いたことを実現してもらいたい」などの意見がありました。厳しい意見として「町長、議員を決めたところで、各政策は本当に実現されるのか」、「金の無駄使いではないか」というものもありました。しかし僕等は無駄使いをするために議員になった訳ではなく、どうしたら僕等の意見を町に届けることができるか。と思います。少年少女のために考えているので、これからはそのような意見が絶対言えないくらいの議会にしていきたいです。

僕個人の政策としては、この町を「活気のある町にしたい」と当選した時は思っていたのですが、しばらく議員となって話し合っていくうちに自分の意見があまりにあいまいなことに気がきました。そこで本当の自分の意見は何かということを考えてきました。僕なりの活気ある町は、24時間ライトの光がまぶしい町ではありません。人と人との関わりをもち、お互いそれを拒まず積極的に交流をもち、言葉が絶えない町になってもらいたいです。例えば昔は今よりもっと家族の人だけでなく町の人々から「いつてらっしゃい」や「おかえり」といった挨拶が頻繁に聞こえてきたと思います。僕は小学生の頃、その挨拶のキャッチボールが好きでした。そしてとても大切な交流であり、会話であると思います。きっと挨拶されて嫌気になる人はいません。だからまず、活気あふれる町になるための一歩として積極的な挨拶、そしてお互いの心から町全体の心が開いていき、若者達と住人との交流が可能になります。そこから町の活気、勢いが、町の力として高まっていくと思います。そうすればこの町の魅力も増え、それに共感する人々が旅行先として訪問することがあれば僕の政策は小さな成功となるでしょう。

これから僕が「まちづくり」の中でやっていきたいことは挨拶はもちろん、遊佐町の魅力に僕自身ももっと気づき、全国の市町村から「この町にしかない魅力が遊佐にはある。」と言われるような町にしていけるよう若者代表として精進していきたいと思っています。

## 少年議員 時田 彩乃



少年議員の時田彩乃です。遊佐中学校の2年生です。蔵岡の上大内部落に住んでいます。

私が少年議員に立候補した理由は、学校への通学路に街灯がなく危ないので、街灯を設置したいと思ったからです。少年議員になって初めは、ほとんどの人が高校生で、うまく活動していけるか心配でした。でも、みんなやさしく、おもしろい人ばかりで、今は楽しく活動しています。12月まで、しっかりとがんばりたいと思います。

私が紹介する中高校生の意見は、国際交流についてです。遊佐町は、中高校生のイギリス・ハンガリー派遣を初めとした国際交流が盛んです。「国際交流がより盛んな町にしたい」、「いろんな国と交流してほしい」という意見がでました。私も、外国に興味があり、もっといろいろな国と交流したいと

思います。しかし、交流の場の情報が、わたしたち中高校生に届いていないのが、現状です。ですから、もっといろいろな国と交流し、交流の場をつくってほしいと思います。そして、交流の場を、いろいろな形で、わたしたち中高校生に知らせてほしいと思います。

私個人の政策は、立候補した理由にもあったように、学校の通学路の上大内から遊佐中までの町道に、街灯やガードレールをつけることです。主に蔵岡地区の生徒が使用する通学路で、車や人の通りが少ない通りです。その通りには、街灯はなく、部活などで遅くなってから帰る時には、たとえ1人でなくてもとても恐いです。通学中の道沿いに川があるのですが、その川にはガードレールがなく危険です。遅くなってから帰る時には、道が暗く、川に落ちてもおかしくないと思います。

これから私が、「まちづくり」のためにやっていきたいことは、あいさつです。私たち中高生が、地域の人たちに、もっと積極的にあいさつできれば、遊佐の町はもっと明るくなると思います。

### 少年議員 富樫 結花



私は少年議員の富樫結花です。遊佐地区の和田に住んでいます。今は遊佐中学校の3年生です。私は事故を経験したことがあるので遊佐町を安全な町にしたいと思い、立候補しました。

少年議員になっての感想は、今まであまり知らなかった遊佐町のことを少しずつですが知ることができました。また少し政治に対する考え方も変わりました。国会などのテレビ中継で議員の人達の話合いをよく聞くようになりました。

次に「もっと人が集まる町」について有権者の意見をまとめました。全体的に見てみると「自然が多い」「緑が豊か」「環境がとてもいい」という意見が多かったです。それと同じくらい「もっといろんな人に遊佐町を知ってほしい」「もっと活発で有名な町にしてほしい」という意見も多かったです。遊佐町にはツーデーマーチというものがあります。ツーデーマーチの目的の1つに遊佐の自然を歩きながら満ち足りる事があげられます。この点では遊佐町の自然を他の町・市・県の人にも知ってもらえる事ができます。ツーデーマーチを通して若い人や他県のたくさんの人に遊佐町の自然を知ってもらいたいです。

遊佐町には山もあるし、川もあるし、海もあります。この自然をいつまでも残していきたいと思っている人も多いと思います。でも遊佐町に人が集まってくる大きなテーマパークをつくらせたい人も少なくないと思います。しかし、大きなテーマパークをつくらせれば、それなりの土地が必要になります。その土地はたぶん山をけずったり、川や海を埋めてしまうことになるかもしれません。つまり、自然が失われてしまうことになります。だから私は大きなテーマパークはいらなないと思います。この遊佐町の自然を大切にしていきたいし、遊佐町の自然を楽しむツーデーマーチも大切にしていきたいです。大きなテーマパークよりも遊佐町の大きな自然でたくさんの人に集まってもらいたいです。

次に私個人の政策について意見を述べたいと思います。私が少年議員に立候補した理由は遊佐町を安全にしたいからです。私は以前、交通事故を経験したことがあります。私が事故にあった道路は向かって左に垣根があり、左の道が見にくいので、車が少し前に出ないと人や車が見えません。その道は小学生も通学路として使っているので車とぶつかったりしないかととても心配です。だから私は車が少し前に出なくても人や車が見えるよう、その道にカーブミラーを設置してほしいです。

遊佐町にはまだ危険な場所があるかもしれません。安全な町にするために少しずつ改善していきたいです。

そして、これから遊佐町のために活発な話し合いをしていきたいです。また意見をくれた有権者のためにも自分のできることから実現していきたいと思っています。

### 【少年町長・少年議員政策予算について】

平成15年11月15日(土)◎第11回少年議会

### 少年町長 後藤 丞

これまで少年議会では、政策予算についてどのようなことをすれば、今の中高生、これからの中高生の為になるのか、また一ヶ所に多くの高校生が集まるような施設を作りたいということを考えてながら議会の中で話し合いました。そこでみんなで話し合った結果、でてきた意見は「ストリートバスケット施設の設置」という意見です。この意見は、今の若い人達が気軽にかつ、自由、無料で楽しく使えるものということを考えて、これが良いとなりました。今の若い人達は、個々でグループのようなものできていて、多くの人が集まるような場が少ないと思います。しかし、このような誰でも気軽に使えるような場所ができることによって、初めて会った人でもスポーツを通して友好関係が生まれ、たくさんの人達と知りあえるということができます。他にも、遊佐にはたくさんのスポーツ施設がありますが、「自由で無料で使いたい!!」という人には、もってこいの場所だと思います。そこで一番みんなが集まりやすく、遊佐以外から来た人でもすぐにわかる場所ということで遊佐町民体育館の横が良いという意見がでました。町民体育館はボールの管理もでき、場所としても町の中心となるので良い場所だと思います。

これらのたくさんの意見に加え、このようなスポーツ施設ができることにより、「ストリートバスケットボール大会」のようなイベントも開催できることができます。それによって口こみなどでいろんな地区の人達が集まり今より、もっと遊佐に遊びに来たり、利用したりする人が増えるのではないかと思います。

これらの考えた意見で、若い人達が気軽にしかも自由無料で使え、そこで友好関係が生まれ、体を動かせるという、とても多くの良い意見に対して一度に答えることができるので、これが一番良い物だと思います。これに決定しました。



### 少年議員 高橋 慶充

#### ◎バスケットリングの設置について

これまで数回の議会を重ね、政策予算50万円で何を実現するか話し合ってきました。

その一つとしてストリートバスケのリングを設置するという案がでました。

設置場所は、町民体育館の横の駐車場の予定です。この施設の利用の際のルールも、今は詳しく決まっていますが、今後の議会で決めていきたいと考えています。

TVゲームなどの普及で、外で遊ぶ子供が減っているという問題がある今、ストリートバスケのリングを設置することが小中高生などの若い世代に良い影響を与えることになればよいと考えています。



### 少年議員 池田 賢介

#### ◎町民体育館前の芝広場の開放について

私は町民体育館前の芝の開放を提案します。理由は遊佐町は、場所が広く、住民の方々が思いきり活動する場が少ないことを自分の地区を見たり、友達や少年議員の人たちの話を聞いたことでわかったからです。また体育館前の芝の広場を開放することで、平日は高齢者の方々がゲートボールなどの様々なスポーツをする場として利用してもらい、放課後や休日は中高生の人たちのサッカーや野球などのスポーツをする場として利用してもらい、休日などの日は親子のいこいの場として利用してもらえと考えています。このように広い場所に若者だけでなく、様々な人たちの方々に集まって利用してもらおうことで遊佐町の活性化にもつながると思います。

またその広場は遊佐町の中央あたりに位置しているので、住民の方々の移動に適した距離だと思います。そして地面は芝になって





いるため、子供たちが転んでも大ケガにつながる心配はないと思います。

それだけでなく使用ルールを決めてそれを看板にして広場の前に設置したり、呼びかけて遊佐町の全ての住民の方々が楽しく仲良く利用していただける広場にしたいと思います。

## 少年助役 池田 裕紀

### ◎フットサルゴールの設置

遊佐町民体育館向いの芝の開放を受けて、フットサルゴールの設置を提案します。

理由としては、ゴールがあるのとないのでは、行きたいと思う人が全然違うと思うからです。それにゴールがあれば、知らない人同士でも、「一緒にゲームしようぜ」などといった短い会話から少しずつ会話を増やしていき、できるだけコミュニケーションをとり友達の輪を少しずつ増やしていき、「遊佐っていいね」などと思ってもらえるようになっていったからです。友達は、1人より2人、2人より3人、もっと多い方が楽しいと思います。

だから、フットサルゴールがあれば、若者が集まる町に少しずつ近づいていけると思います。



## 少年議員 伊藤 一徹

### ◎ゆうすい前への植樹について

私は、ゆうすいへの植樹、清掃ボランティアについて述べたいと思います。

私達の使用できる予算の50万円で何を町のために出来るだろうかと考えました。その時、私達の班では木を植えようという意見がありました。でもせっかく植えるのであればたくさんの人に見て楽しんでほしいと考えた時に、花や木を見に行きたいと思ったら、すぐにも車や自転車で見に行ける私達より、見に行きたくても見に行けない足の不自由な人や、寝たきりの人達にたくさん花や木を見てほしいと思ったので「ゆうすい」への植樹を決めました。それと清掃ボランティアなどもしてみたら、もっと充実した経験が出来るのではないかと思いますこの2つの案にまとまりました。

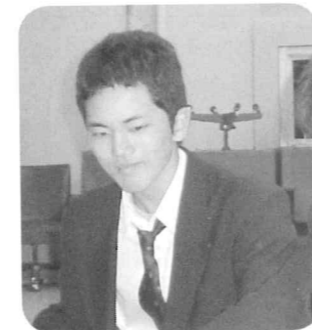
21世紀になり、ますます日本の老人の増加と少子化について問題になっています。

そのために、これから老人を支えていく大人や若者のボランティアというものがとても重要となってきます。

今のボランティア活動の状況は、積極的に誰かのために自分の力を尽くしたいという人と、まだ戸惑いを持つ人がいます。しかし、戸惑いを持つというのは同時に施設にも言えると思います。例えば、初めて積極的に施設へボランティアに行ったとします。「何をしたらいいのでしょうか。」という問いに、「何をさせようか。」とってしまうのではないのでしょうか。確かに、私達が携わることが出来ないこともたくさんあるでしょう。しかし、そんな私達にも出来ることはたくさんあります。

老人の話し相手をしたり、車いすを磨いたり出来ます。だから施設で働いている人達も積極的にボランティアを受け入れてもっと「ボランティアを積極的にやり、私達でもこんなに出来るんだ。」と、私達が思える施設づくりも大切なことの1つなのではないでしょうか。

そうすれば、いつか必ず「心からのボランティア」が確立し、福祉施設もより良くなっていくと思います。私はそうなる人で今後老人を私達みんなの力で支えていくことが出来るのではないかと思います。そして遊佐町をみんなの力で築き上げていけるのではないかと思います。



少年町長  
後藤 丞

### (1) 活動を振り返って

今年の7月13日に、少年町長として当選してから早くも、5ヶ月が経ちました。今思うと長かったようで本当にあっという間に過ぎていった5ヶ月でした。この5ヶ月全てが初めての体験ということだったので、自分でもどう進めていけば良いのか、どうすれば成功するのかなど、不安がたくさんありました。しかし、役場の皆さんのおかげで無事、今日の日を迎えることができました。また町のイベントにたくさん参加して、自分の町のことがもっとよく知ることができ良かったです。それと一番良かったことは、自分達が提案したことが形として残ったことです。これまでの5ヶ月間、町長をはじめとする役場の皆さん、町民の人達にはとてもお世話になりました。本当にありがとうございました。

### (2) 第2期少年町長へ伝えたいこと

自分達、第1期少年議会は、何もわからないまま、ただつっ走ってきたという感じがします。しかし来年の第2期少年議会には、私達ではできなかったことをたくさん挑戦してもらい、何よりも、第1期で築いた土台の上にいるいろんなことにチャレンジして、「充実した少年議会だった」と言われるような活動をしてほしいと思います。それにこの少年議会というのは、町と若い人達をつなぐような役割だと思います。だから自分達の時より、若い人達の意見をたくさん反映してほしいと思います。

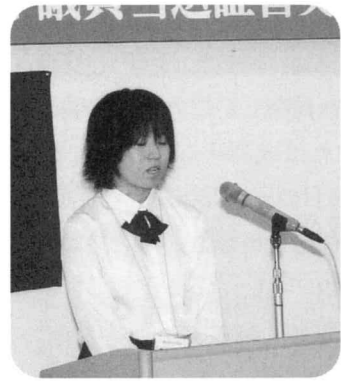
### (3) 少年町長、少年議会の解散にあたり遊佐町に提言したいこと

今まで自分達、少年議会は町にたくさんの提言をしてきました。そして今回の解散にあたり自分は、3つ提言したいと思います。

1つは今、庄内では合併が問題となっていて、ほぼ合併は現実となっています。しかし、合併をしたとしても遊佐という名前はなくさないでほしいと思います。

2つ目は、この少年議会についてです。この少年議会を第2期で終わらせることなく、いつまでもずっと残してほしいと思います。

最後の3つ目は、少年議員としてではなく遊佐町民の1人として、今までと変わりなく住みやすい、楽しめる「まちづくり」を町に徹してほしいと思います。これで自分の提言を終わります。



少年助役  
**齋藤 千絵**

### (1) 少年議会の活動を振り返って

遊佐町少年議会に少年助役として参加してたくさんを知り、体験することができました。中高生の、遊佐町に対する思いを知ることができました。自然を残してほしい、もっと活気のある町になって欲しいなど、みんな遊佐のことを考えているんだなあと思い、私ももっと遊佐のために頑張ろうと思うきっかけにもなりました。

また、議員のみんなと、遊佐を良くするために真剣に話しあうことも、楽しみながら取り組むことができました。他にも、本当の議員の方々に前に提言をしたり、イベントを行ったり、少年議員にならなければできないことを、たくさん体験しました。遊佐町や、町の政治について真剣に考える機会になりました。大変なことも多かったけれど、それ以上に楽しく、一生懸命に取り組むことができ、自分にとってとても良い体験になったと思います。

### (2) 第2期少年町長・少年議員へ伝えたいこと

遊佐町で行っている少年議会は、自分たちで選挙をして、町長や議員を決め、政策予算が付き、自分たちで何かをできるという全国で初めての取り組みです。だからこそ、町長はもちろん、議員になった人にも相応の責任が生まれます。自分の思いだけでなく、有権者の思いも大切に活動していかなければなりません。

大変なこともたくさんありましたが、それを成し遂げた時の達成感はとても素晴らしいものでした。第2期の議員になる人も、それを感じることができるよう頑張してほしいと思います。

また、初代の少年議員は高校生が中心となっていましたが、もっと中学生にも参加してほしいと思います。年齢などを気にせずに、みんなで遊佐をもっと良くしていきましょう。

### (3) 少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいこと

約半年間、少年議員として活動してきて、初めて知った遊佐町のイベントがいくつかありました。そこで思ったのは、もっと宣伝を工夫すればいいのではないかとことです。遊佐で17年間過ごしてきて、知らないイベントがあるということは、私が興味をもっていなかったせいもあると思います。しかし普通に生活していて知る機会が少ないのではないかと思います。

私自身若い人に知ってもらいたい方法を提案できないので、何とも言えませんが、遊佐で行っているイベントを、もっと若者に知ってもらえることができれば、自然と参加してくれる人も増えるのではないのでしょうか。

遊佐をもっと活気のある町にするために、若者のためのイベントをつくったり、もっとイベントを知ってもらうために、がんばってほしいと思います。



少年助役  
**池田 裕紀**

### (1) 活動を振り返って

7月13日の遊佐町少年町長・少年議員当選証書等交付式に始まり、今日12月28日までの6ヶ月間、皆さんと活動出来て、とても嬉しかったです。

初めは、緊張してなかなか自分の考えを伝えることが出来ませんでした。でも、少しずつ自分の考えを伝えられるようになり、回を重ねるごとにだんだん楽しい話し合いになっていきました。政策提言発表では、1人1人が原稿に書き、まとめ、発表することでよりお互いの考えをわかり合えたのではないかと思います。

それに、町長方にもご出席いただき、私達の提言を受け止めてくれて、カーブミラー、街灯等の設置を実施していただいた時は、とても嬉しかったです。

皆さんと一緒にいった最初で最後のイベントの、「止まらない・終わらない2003遊佐」も、盛大とまではいきませんでした。来てくれた皆さんに楽しんでもらえたと思うので、良かったです。皆さんのおかげで、楽しく有意義な6ヶ月間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

### (2) 第2期少年町長・少年議員へ伝えたいこと

第2期少年町長・少年議員の皆さんには、「遊佐町が好きだ」「遊佐町をもっと良くしたい」という気持ちをもってもらいたいです。もし、その気持ちが無ければ、ただのつまらない話し合いです。

でも、その気持ちがあれば、とても楽しく有意義な話し合いになると思います。楽しければ、自然に考えが浮かんでくるはずですよ。

皆さんには、多数決で、少数派の意見を切り捨ててもらいたくありません。お互いが納得するまで何度でも話し合って、1つの意見にまとめてほしいです。最後になりますが、皆さんの気持ちのこもった提言があれば、必ず変わります。皆が楽しいと思える、そんな町に。心から応援しています。頑張ってください。

### (3) 少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいこと

遊佐町のすばらしい自然をできるだけなくすことなく遊佐町を良くしていきましょう。

遊佐町の一番の魅力は、「自然」だと私は思います。

また、その思いは私だけでなく、遊佐町に住む人すべてが思っていることだと思います。

ぜひ、その気持ちを裏切らないように、今まで以上に話し合って、遊佐町を安全で楽しく暮らしやすい町にして下さい。





少年議員  
狩野 未来

### (1) 活動を振り返って

実際議員をやる前は、マスコミに広く取り上げられる意味がわかりませんでした。けれど、今ならわかります。実際に街灯、バックミラー、落下防止柵をつけることができたのは、少年議員の意見があったからという話を聞いたからです。確かに実際にそこに住んでいる人でないとわからない意見がたくさんあります。少年議員は、そういった低いところからの意見、つまり一番住民に身近な意見を町に伝えることができる、貴重な存在だったわけです。今なら少年議員のその意味を理解することができます。

あと、遊佐以外に住む人に「テレビで遊佐のことを言ってたよ」と言われた時には、私は正直に嬉しかったです。なぜならマスメディアを通して、他の市町村に遊佐のことを知ってもらえたからです。私達が少年議員として活動したことによって、遊佐の知名度を上げることができて本当に良かったと思います。

### (2) 第2期少年議会へ伝えたいこと

遊佐の知名度はあると思います。あとは来てもらえるように、遊佐の特に中央公民館周辺の所在地を知ってもらえるようになればバッチリかなと思います。この周辺をどのように知ってもらえるかは、次の少年議員さんに託したいと思います。そしてぜひ、次に継ぐ少年議員の皆さんには、今年建てられなかった街灯の続きと遊佐町の環境整備をさらに整えること、遊佐の名を広め、他の市町村や他県から遊佐を訪れる人がますます増えるように、私たち以上に頑張っていたきたいと思います。

### (3) 少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいこと

政治や選挙に対する関心が薄れる中で、この少年議会の事業を作ったのは、素晴らしいことだと思います。ぜひこれからも少年議会を続けていってほしいと思います。そして、これからはもっと少年議員という立場が、社会の中に馴染んでいけばいいと思います。



少年議長  
佐藤 慶

### (1) 活動を振り返って

遊佐町少年議員に就任してもう半年になりました。今までの議会や活動などすべてを振り返って、有権者の意見など地元の中高生が遊佐町について、どう思っているのか、どう考えているのかを知ることができて、「なるほど」と言うような同感する意見がたくさんありました。また遊佐の中高生も町について考えているんだと感心しました。また、我々議員もいろいろなイベントなどに参加し、大変でしたが、とても楽しいことばかりでした。半年という短い間なのにそう思わせないくらい、びっしりとしたドラマのような毎回だったと自分は感じました。少年町長・助役・議員・役場関係者など半年間お疲れ様でした。

### (2) 第2期少年町長・少年議員へ伝えたいこと

まず任期が半年間しかないのも、限られた条件の中、自分の意見を発表し議会がスムーズにいくよう頑張ってもらいたいです。

また、「有権者がどの様に遊佐町を考えているか」「何を行なってほしいか」を知ってほしいです。そして第1期目の少年議員の考えでは思いつかなかったことをどんどん発表して町や若者などたくさんの人のために役立つことを実現してほしいです。

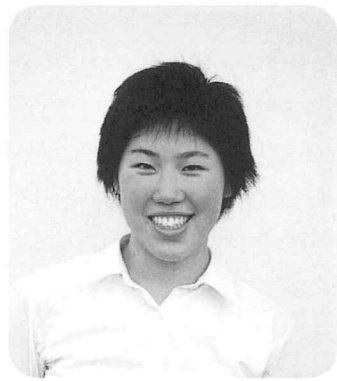
### (3) 少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいこと

やはり遊佐町は若者が集まるようなイベントが少ないというのが現状だと思います。もっとこの状況を考え企画してほしいです。

実際、少年議会での政策で盆踊りに若者が集まるようにしようと議論している中、遊佐でそんなことがあったのかという質問がたくさんでした。このことから若者達にはあまり盆踊りについては耳にしないということがわかりました。そこで遊佐町の中高生にハガキを送ったら、盆踊りに中高生がたくさん来たのです。宣伝することが重要だとわかりました。

皆さんがふれあえるような企画、町づくりを実現してほしいです。





少年議員  
赤塚 縁

### (1) 活動を振り返って

短い間でしたが、この少年議会で議員として活動することができて、本当に良かったと思います。今回の活動を通して、遊佐に住む人達のいろいろな意見を聞き、盆踊り等に初めて参加して、自分は遊佐について何も知らなかったのだと気がきました。また、人と人との関わり合いがとても強い町だと改めて思いました。

それから、普段言う機会のない中高生の声や、実現できないような街灯の設置、若者向けのイベントの開催等、今まで誰かにやってほしいと思っていたことを、自分達で話し合い、企画をして実現することができたのがとても嬉しかったです。もちろん自分達だけの力じゃなくて、遊佐のいろいろな人達に協力してもらったから、ここまでたくさんのことを実現することができたと思います。

少年議会での活動は、大変なことも多々ありましたが、自分にとってすごく良い経験になったと思います。これからもぜひ続けてほしいです。

### (2) 第2期少年議会へ伝えたいこと

第2期の少年議会には、少年町長・少年議員のみんなが、有権者の遊佐に対する意見を聞き、自分達で話し合い、いろいろなイベントに参加して、もっともっと遊佐についてたくさんを知ってほしいと思います。また、今まで興味のなかったようなことにも、興味を持ってもらいたいと思います。このような場で意見を言うことができるというのは、なかなかできない体験だと思うので、有権者の意見をまとめ、しっかり自分達の意見も出し合い、実現してほしいと思います。

いろいろ大変なこともあると思いますが少年議会を通して遊佐町のいろいろな面が見えてくるとと思います。そして自分にとってプラスになる経験だと思うので、ぜひ頑張ってほしいです。そして、この活動をそこで終わりにしないで、次の議会へとずっと伝えて行ってほしいと思います。そうしていろいろな人達の意見を反映させることが、遊佐をもっと良い町にすることだと思うので、頑張ってほしいです。

### (3) 少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいこと

私は、今回、少年議員として遊佐町の色々なイベントに参加してみようと思ったのですが、こんなに様々なイベントが遊佐町にはあるのだから、もっと目立つように宣伝してほしいでしょうか。私も含めてですが、遊佐に住んでいる中高生のほとんどがイベントの内容はおろか、その日に遊佐でこのようなイベントがあるということさえ知りません。確かに若者があまり自分達から興味を持たないというせいもあるかもしれませんが、それならもっと主催する町の方で積極的に宣伝する必要があると思います。遊佐にもたくさん楽しいイベントがあるのに、町民が知らないというのは意味がないと思います。それに遊佐は人と人とのつながりが強い町だと思うので、本当はもっとイベントは盛り上がるはずだと思います。

ですから私は、今現在遊佐で行われているイベントについて、もっとたくさんの人に知られるように、わかりやすく宣伝してほしいと思います。



少年議員  
菅原 啓志

### (1) 活動を振り返って

思い起こしてみれば、7月13日の第1回少年議会から約5ヶ月と少しの短い間でしたが内容のつまった有意義な時間を少年議会で過ごさせていただいてとても感謝しています。例えば8月14日に行われた盆踊りでは、初めて実際に人々いっしょに、踊ったり、売店などのお手伝いをしたこと。まだ記憶に新しい12月20日に行われた「止まらない・終わらない・遊佐2003」。そのイベントをするまでに、話し合いの中で出たアイデアを実際に行動に移すまで大変さが良くわかりました。このような普段は体験できないいろいろなことを経験させていただいて、とても感謝しています。この少年議会で体験したことが、自分の今後の生活につながることも多くあると思います。そのことを忘れずに自分のこれからの役に立てていきたいと思っています。

### (2) 第2期少年町長・少年議員へ伝えたいこと

少年議員になりたての頃は、自分の意見を言えなくて周りのみんなの意見に合わせていたような気がします。間違った意見を言うってしまうかもしれないという不安からだったと思います。しかし、この少年議会での話し合いには間違いは無いと思います。少なくとも最初から最後まで何の意見もでないような議会よりは、どんな小さな意見でも発表されるような議会の方が数段良いと思います。その小さな意見を聞いて、「僕はこう思う」だとか「私はこう思う」、「じゃあこうしたらいいのではないか」というように小さな意見が大きくなっていく場合もあると思います。最初からそんなに簡単にはいかないかもしれませんが少しずついいので自分の意見を持つと、自然と意見もでるのではないかと思います。最初は、緊張したりで大変かもしれませんがそこを乗り越えて頑張って下さい。

### (3) 少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいこと

私が遊佐町への提言したいことは、この少年議会を来年もしてもらいたいということです。今年から全国初と言えるこの少年議会を自分がやってみて、大人の方々と議論をしたり、様々な活動をしていくうちに人間として成長したと思います。また子どもの視点から見た意見は、大人達には、予想もつかないような意見がでることも多くありました。このように遊佐町には、若者が活躍する機会があまり多くないので、この少年議会をすることは遊佐町にとって大きなプラスになると思います。また若者が活躍できる機会が増えるので、来年も少年議会を行ってほしいと思います。





少年議員  
**佐藤 千広**

**(1) 活動を振り返って**

少年議会の活動は、とても充実した活動だったと思います。つけてほしかった街灯もついたり、イベントも成功したと思っています。

桜の植樹も、ゆうすいでの清掃も、町の人達から喜んでもらえて、私はとても嬉しかったです。バスケットリングやサッカーゴールの設置もうまくいき、とても満足しています。

話し合いでも、自分の意見を積極的に述べることで活動も順調におこなわれました。「どんな町にしていきたいか」という中高生の意見もうまくまとめられたと思います。

少年議員になって本当に良かったと思います。政治への興味もわいてきたし、自分に自信を持ってました。この経験を生かし、これからの自分の活力としていきたいと思っています。

**(2) 第2期少年議会へ伝えたいこと**

第2期だけではなく、これから続いていく少年町長・少年議員達に伝えたいです。

私達初代の少年議会でいろいろなことを行いました。

盆踊りのバザーも桜の植樹もゆうすいでの清掃もバスケットリング、サッカーゴールの設置も…。このことはすべて、町の人々からも喜んでもらえると思います。そして自分のためにも良いことだと思います。やっぱり、町の人々から喜んでもらえるということはすごく嬉しいことです。

これからの少年町長・少年議員の人達にも、この嬉しさを実感してもらいたいと思います。町の人達のために、自然豊かな安全で住みやすい町をつくらせてもらいたいです。

**(3) 少年町長・少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいこと**

少年町長、少年議会解散にあたり遊佐町に提言したいことは、まず、自然をこのまま残してほしいということです。毎年行われているツアーマーチは、遊佐町の自然を見るために、全国から数多くの人達が参加しています。遊佐町にとって自然は大切なものです。

次に、提言したいことは、少年議会が解散しても、暗く危ない所には街灯や電灯をつけてほしいです。そうしたら、安全で住みやすくなるので、町の人達も安心して暮らせると思います。

最後に、お年寄りのために福祉の活動を活発にしていってほしいです。これから高齢化社会が進み、福祉はもっと重要なものになっていくと思います。



少年議員  
**高橋 慶充**

**(1) 活動を振り返って**

私が初め少年議員として活動するにあたって考えたことは、町民の方々のためになり、喜んでもらえるような活動をしたいということでした。私は街灯の設置を提言し実現してもらいました。その後、夜にその場所を通って見ると、以前よりも見通しがよく、利用しやすくなっていて、良かったと思います。それと、提言したことが話し合われ、実現される過程など、様々な行政のシステムについて学ぶことができてとても良い経験になりました。

また、音楽イベントを企画したことで、その計画と準備がいかに大変でどのように話を推し進めて行くかなども学ぶことができて良かったです。

最後に、議員になったお陰で今まで話したこともなかった他の議員の人達とも交流できたり、先に述べたことなど、本当にとてもいい経験になりました。

**(2) 第2期少年町長・少年議員へ伝えたいこと**

私が第2期少年町長・議会に伝えたいことは、1つは遊佐町の中高生の代表として責任を持って活動してほしいということです。自分から立候補して町長・議員になるのですから、任せられた仕事などは責任を持って取り組まなければならないと思います。

2つ目は、せっかく中高生が町長・議員になるのだから、もっと若い世代の人が楽しめる何かを創ってほしいという事です。第1期の議会でも、盆踊りや音楽フェスティバルなど、若い人達に楽しんでもらおうと企画しました。そして私がこのような企画を通して思ったことは、遊佐の若者のパワーはまだこんなものではないということです。もっと遊佐の若者のパワーを存分に引き出せる何かに取り組んでほしいです。

3つ目は、少年議員の活動というのは、多くのことを学んだりできて、きっと自分の将来にプラスになると思います。最後まで悔いの残らない活動をするようがんばって下さい。

**(3) 少年町長・少年議会の解散にあたり遊佐町への提言**

少年町長・少年議会解散にあたり、遊佐町に提言したいことは、1つは任期中に何度か中高生から希望を出してもらおうことです。少年議会は町の中高生の「代表」として活動するので、その活動の元になるのは中高生の意見です。選挙の時、1回だけでは本当に意見が反映されることにはならないと思うので、何度か要望、意見をとりまとめた方がいいと思います。2つ目のことを提言します。それは月に1度、遊佐町の少年議会がどのような活動をしているか、町の人に知らせるということです。きっと多くの中高生は1期の議会ではどういった活動をしていたか把握していなかったと思います。町の中高生に知らせれば、それに対する意見や要望もとりまとめる事ができ、それが意見の反映にもつながり、少年議会がより内容の深いものになると思います。



少年議員  
池田 賢介

### (1) 活動を振り返って

僕がこの1年間の少年議会の活動を通して学んだことはたくさんあります。

1つは与えられた仕事に責任を持つということです。議員になる前は自分じゃなくても誰かがやるだろうという気持ちで取り組むことが多かったんです。しかし議員になって少年議会としてのストリートバスケットのリング設置や街灯の設置など様々な活動を通して自分の意見がすぐ反映されることを実感し、与えられた仕事に対して中途半端ではいけないことを学びました。

また、遊佐町のことに議員になる前より興味・関心を持つようになりました。交通上不便な所はないか、現在の老人ホーム・高齢者に対する対処はどうなっているのかなど様々なことに興味を持ちました。

少年議会の活動を通して「自分の夢を実現したい」という気持ちも強くなりました。この経験したことをこれからの生活に生かしていきたいと思います。

### (2) 第2期少年議会へ伝えたいこと

私が次の少年町長・議員に伝えたいことは、自分の持っている意見ははっきり言うことです。私はこの半年間、少年議員として活動したことで、このことを実感しました。最初の頃は議員としての自覚はあまりなく、深くまでは遊佐町のことを考えていませんでした。しかし活動が本格的になっていくことで、議員としての自覚と同時に自分の思いや有権者の意見の重要性に気がきました。私の意見が反映したと思われることは、ストリートバスケゴールの設置だと思います。その時、自分たちは有権者の代表ということ、自分たちの意見・政策が遊佐町を変えることができることを実感しました。ぜひ私のように2期の中高生にも実感してほしいです。

そして様々な経験を通し、人間として成長したような気がしました。次の少年町長・議員の皆さんにも一生懸命がんばってほしいと思います。

### (3) 少年町長・少年議会の解散にあたり遊佐町への提言

私が提言したいことは、中高生と若い人と高齢者との交流をより深めていってほしいです。私は少年議員になってからゆうすいでのボランティア活動を通して、高齢者とのふれあいの大切さを知りました。きっとこの交流は遊佐町の活性化につながったと思います。これからこのような交流が、より行いやすくなるような土台を私たちは築けたような気がします。



少年議員  
伊藤 一徹

### (1) 活動を振り返って

私が初代遊佐町少年議員なり、約半年の活動を振り返っての感想は、正直しんどい時もありましたが、私なりに充実した日々を過ごせたということです。私達が遊佐町や有権者に何ができるだろうかと考え、考えた企画を一から練り、何回もその企画した行事についてディベートを重ね、そして行動に移し、最後までやり通す。高校生のうちに考えを実行に移すまでの困難さ、また人の意見を自分の意見とぶつけ合って企画を良い方向にもっていくディベートの大切さを学びました。あとは、普段行かない所へ行ったり、遊佐町の行事にでることで町の人達と今まで以上にふれあうことができました。これらの学んだものは勉強とは違うものですが、これからの私の人生においてとても大切なものになったと思います。そして、その学んだものを無駄にしないように、積極的に行動して、より充実したものにしていきたいです。

### (2) 第2期少年町長・少年議員へ伝えたいこと

第2期少年町長・少年議会に伝えたいことですが、まず私達より多くの立候補が出て、選挙を以前も増して白熱したものにして欲しいです。他には、議員でも有権者でも、「ああしてみたい」、「こうしてみたい」といった意見を議員はどんどんディベートを通して発言してもらいたいと思います。有権者の意見の中には、あいまいな意見があったので、より明白な意見をどんどんだしてもらいたいです。

### (3) 少年町長・少年議会の解散にあたり遊佐町への提言

少年町長・少年議員の解散にあたり、遊佐町に提言したいことですが、私はこれからおそらく遊佐を離れて暮らすことになります。帰って来た時に、「あー帰って来て良かったなあ。」と思うような町にしてほしいです。今でもいい町だとはいつも感じるのですが、ゲームセンターが無いとか、「ツタヤ」がないといったことではなくて、まだ遊佐の良さというのがもっといっぱいあると思います。それが具体的に何だと考えると私はすぐにはできません。だから、その私が物足りないと思う何かを、これからの少年議員には考えてもらいたいと思いました。ありきたりかもしれませんが、これが私の提言です。

最後に、私はこの大役を無事やりこなすことができたことをとてもうれしく思います。







少年議員  
時田 彩乃

### (1) 活動を振り返って

長かったようで、短かった少年議員としての半年間。この半年間で、とても良い経験ができました。遊佐町のことについて話し合うということも、遊佐の行事に参加することも、このような機会がなければできないことだったと思います。

特に12月20日に行われた「止まらない・終わらない遊佐 2003」は、良い経験になりました。一番最初の段階から、自分達で考えていくのは、とても大変でした。けれども、大変だった分、成功した時はうれしかったです。

初めは、ほとんどの人が高校生で、うまく活動していけるかととても心配でした。けれども、みんなやさしくおもしろい人ばかりでした。議員になって、少しだけ休みは減りましたが、とても楽しかったです。

この半年間で、ますます遊佐が好きになりました。関係者のみなさん、どうもありがとうございました。

### (2) 第2期少年議会へ伝えたいこと

私が伝えたいことは、まず「遊佐をますます好きになってほしい」ということです。この半年間で、私は今まで以上に遊佐が好きになりました。それは、遊佐町のことについて話し合うことや、遊佐の行事に参加することができたからだと思います。ぜひ第2期少年町長・少年議員のみなさんにも、遊佐をますます好きになってほしいと思います。

次からのことは、中学生の議員の方へ、伝えたいことです。初代少年町長・少年議員はほとんどの人が高校生でした。第2期少年町長・少年議会も、高校生の立候補者が多いかもしれません。ぜひ中学生も立候補して、中学生の目から見たこと、感じたことを、どんどん発言・提案してください。

第2期少年町長・少年議会のみなさん、自信を持って、精一杯がんばってください。

### (3) 少年町長・少年議会の解散にあたり遊佐町への提言

少年町長・少年議会解散にあたり、私が遊佐町に提言したいことは、交通の安全に関してもです。他の少年議会のみなさんの話などから、まだまだ危険な所が、いくつもあることがわかりました。それに私たち少年町長、少年議会の知らない、危険な所が、まだまだあると思います。それを、少しずつでもいいので、改善して行ってほしいと思います。

第2に少年町長、少年議会の活動に関してです。私は少年議員として過ごしたこの半年間で、遊佐の良い所を新しく発見したり、改めて確認したりと、遊佐について、少し詳しくなることができました。そして遊佐をますます好きになることができました。きっと、第2期少年町長、少年議会のみなさんも、少年町長、少年議会活動を通して、遊佐のことを、今まで以上に好きになってくれると思います。そのためにも少年町長、少年議会は、いつまでも続けて行ってほしいです。



少年議員  
富樫 結花

### (1) 活動を振り返って

私は少年議員の一員として、たくさんの経験をし、たくさんの人と出会うことができました。

交通事故にあった6月から私は「この経験を生かして町のために何かできないか」と考えていました。半年前の私は遊佐のことを全然知りませんでした。だから、遊佐のことを知りたいと思っていました。

少年議員として桜の木を植えたり、ゆうすいでボランティアをしたり、イベントをしたりしてたくさんの経験をすることができ、遊佐町を再発見できたと思います。

少年議員にならなければ、できなかった経験ができ、たくさんの人達と出会うことができ、とてもよかったです。また、たくさんの中高生の意見を聞くことで、いろいろなことを考えることができました。私にとってとても良い経験になったので、これからこの経験をいろんなことに生かしていきたいです。

### (2) 第2期少年町長・少年議員へ伝えたいこと

私は第2期の少年町長や少年議員は遊佐町に関心のある人になってほしいです。「遊佐のここを改善したい」などという意見を持っている人にやってほしいと思っています。大人からは見えなくて、子供の視点から見ることのできるものがたくさんあるからです。自分が気付いたものを町づくりに生かしてほしいです。

続いて、中学3年生になる方で立候補を考えている方へ伝えたいことがあります。学校の中で一番上の立場ということで、学校行事や受験などとても忙しいと思いますが、関心をもったらやった方がいいと思います。私も中3で勉強と両立させるのは大変でしたが、とても楽しかったです。町を良くしたいという気持ちがあるのなら、自信をもって立候補してください。

第2期の少年町長・少年議員になる皆さん、がんばってください。

### (3) 少年町長・少年議会の解散にあたり遊佐町への提言

初代少年議会解散にあたり、遊佐町に提言したいことは第2期の少年議会、その後続いていく議会が成功できるように援助していただくことです。議員が提案すること、考えていることを聞きもらうことなく町づくりに生かしてほしいです。中高生の意見も参考にして、住民全員が住みやすい町をつくってほしいと思います。

また、遊佐町は住民全員でつくっていくものだというを皆さんに伝えてほしいです。



1 盆おどり／フリーマーケット



2 「ゆうすい」植樹／清掃ボランティア



3 止まらない、終わらない遊佐2003



4 ストリートバスケット



1 カーブミラー



2 転落防止柵



3 防犯灯

吹浦



大楯



上大内



野沢













明日の遊佐町に  
ぼくたちは  
わたしたちは  
**提案します。**

